

# 総合支援学校職員室等増築（建築主体）工事

小千谷市 建設課

図 面 リ ス ト											
意 匠		構 造		仮 設 建 築 物		電 気 設 備		機 械 設 備			
図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称		
――	表紙										
A ― 1	図面リスト	S ― 1	構造設計特記仕様書(職員室棟)	K ― 1	設計概要・仕上表	――		――			
A ― 2	建築工事仕様書 1	S ― 2	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	K ― 2	平面図	――		――			
A ― 3	建築工事仕様書 2	S ― 3	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	K ― 3	立面図	――		――			
A ― 4	建築工事仕様書 3	S ― 4	鉄骨構造標準図(1)	K ― 4	断面図	――		――			
A ― 5	建築工事仕様書 4	S ― 5	鉄骨構造標準図(2)	K ― 5	法チェック図・建物求積表	――		――			
A ― 6	建築改修工事仕様書 1	S ― 6	ハイベースNE0工法設計施工標準	K ― 6	基礎伏図・基礎詳細図	――		――			
A ― 7	建築改修工事仕様書 2	S ― 7	ハイベースNE0工法 各種寸法及び基礎柱形設計例	KE ― 1	幹線設備 全体1階平面図	――		――			
A ― 8	建築改修工事仕様書 3	S ― 8	ボーリング柱状図	KE ― 2	弱電設備 全体1階平面図	――		――			
A ― 9	建築改修工事仕様書 4	S ― 9	伏図・軸組図(職員室棟)	KE ― 3	幹線・動力設備 平面図	――		――			
A ― 10	建築改修工事仕様書 5	S ― 10	地中梁・基礎・スラブリスト図(職員室棟)	KE ― 4	分電盤結線図	――		――			
A ― 11	建築改修工事仕様書 6	S ― 11	鉄骨リスト・鉄骨架構詳細図(職員室棟)	KE ― 5	電灯設備 平面図	――		――			
A ― 12	共通仮設図(参考図)	S ― 12	構造設計特記仕様書(普通教室棟)	KE ― 6	コンセント設備 平面図	――		――			
A ― 13	設計概要	S ― 13	伏図・軸組図(普通教室棟)	KE ― 7	弱電設備 平面図	――		――			
A ― 14	案内図・配置図(確認申請段階)・敷地求積図	S ― 14	地中梁・基礎・スラブリスト図(普通教室棟)	KE ― 8	放送設備 平面図	――		――			
A ― 15	仕上表(外部・内部)	S ― 15	鉄骨リスト図・鉄骨架構詳細図(普通教室棟)	KE ― 9	自動火災報知設備 平面図	――		――			
A ― 16	(増築前)全体1階平面図	――		KM ― 1	給排水衛生平面図	――		――			
A ― 17	(増築前)全体2階平面図	――		――		――		――			
A ― 18	(増築前)全体屋根平面図	――		――		――		――			
A ― 19	(増築後)全体1階平面図	――		――		――		――			
A ― 20	(増築後)全体2階平面図	――		――		――		――			
A ― 21	(増築後)全体屋根平面図	――		――		――		――			
A ― 22	(増築後)立面図1	――		――		――		――			
A ― 23	(増築後)立面図2・断面図	――		――		――		――			
A ― 24	矩計図1(職員室 増築前後)	――		――		――		――			
A ― 25	矩計図2(普通教室 増築前後)	――		――		――		――			
A ― 26	天井伏図	――		――		――		――			
A ― 27	(増築前)職員室平面詳細図・展開図1	――		――		――		――			
A ― 28	(増築後)職員室平面詳細図・展開図1	――		――		――		――			
A ― 29	(増築後)職員室展開図2	――		――		――		――			
A ― 30	(増築前・後)普通教室平面詳細図・展開図1	――		――		――		――			
A ― 31	(増築後)普通教室展開図2	――		――		――		――			
A ― 32	建具共通事項	――		――		――		――			
A ― 33	1階建具案内図	――		――		――		――			
A ― 34	2階建具案内図	――		――		――		――			
A ― 35	建具表1(増築)	――		――		――		――			
A ― 36	建具表2(既存)	――		――		――		――			
A ― 37	建具表3(既存)	――		――		――		――			
A ― 38	雑詳細図1	――		――		――		――			
A ― 39	雑詳細図2	――		――		――		――			
A ― 40	雑詳細図3	――		――		――		――			
A ― 41	法チェック1(防火区画・歩行距離)	――		――		――		――			
A ― 42	法チェック2(基準法・消防法)	――		――		――		――			
A ― 43	案内図・配置図(竣工段階)	――		――		――		――			
A ― 44	(仮設完了後)全体1階平面図	――		――		――		――			
A ― 45	(仮設完了後)全体2階平面図	――		――		――		――			
A ― 46	(仮設完了後)全体屋根平面図	――		――		――		――			
A ― 47		――		――		――		――			
A ― 48		――		――		――		――			
A ― 49		――		――		――		――			
A ― 50		――		――		――		――			
				製 図	管理技術者	審 査	承 認				
				熊倉	熊倉	熊倉	熊倉				
				株式会社 ワシツ設計							
				一級建築士事務所 新潟県知事登録(ワ)第495号 一級建築士 第361707号 管理建築士 髙田 加恵郎							
						構造設計 一級建築士 第 号 構造設計一級建築士 第 号	CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称
						設備設計 一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号	A-276	R5.03	FREE	1 A	総合支援学校職員室等増築(建築主体)工事
											図面名称 図面リスト



[illegible]

[illegible]

ユニツト及びその他工事	14	ビクチャーレール	レール 材質 7M2ニル製(シルバー) 形式 先付け天井埋込型(見切縁兼用) 材質 本体・真鍮製 フック: ステンレス製(可動式) 耐荷重 25kg程度/個 個数 2個/レール1m	⑤ 路面材料	路面の厚さ 〇 100 mm (22.3.2) 路面材料 ※再生グラツツラン(RC-40) ・7A77M2再生グラツツラン(ARC-40) (22.3.3)(表22.3.1) ・グラツツラン(C-40) ・グラツツラン鉄鋼スラグ(GS-40) ・粒度調整砕石	8	枯植償及び枯損処理	※引渡しの日から1年間 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)(23.5.5) ・年間 ・年 月 日迄	24	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出すること。
	16	床下点検口	⑬ 天井点検口	6	路面の締固め試験	9	屋上緑化システム	土壌層 ※改良土 ・人工軽量土 (23.5.2)(23.5.3) ・厚さ mm 排水層 ・軽量骨材(厚さ mm) ・板状成形成品 (23.5.3) ・透水排水管 ※「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造体力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付け 建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を標準1.2[施工計画書]による品質計画で定める。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	17	積雪表示板	⑭ 表示	7	アスファルト舗装	24	① 公共事業労務費調査への協力	※協力する	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	19	くつふきマット	⑮ 表示	8	コンクリート舗装	24	2 工事監理方式	共同監理 ・有り ・無し	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	20	流し台ユニット	⑯ 表示	9	カラー舗装	24	③ 適用基準等	・営繕工事電子納品要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修) ※工事進行マニュアル(新潟県土木部都市局営繕課作成)	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	21	屋内掲示板	⑰ 表示	10	透水性7A77M2舗装	24	4 総合図	※作成する	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	22	洗面カウンター	⑱ 表示	11	ブロック系舗装	24	5 工事成績評定	※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。 (様式等は、工事進行マニュアルによる。)	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	23	敷地境界石標	⑲ 表示	12	区画線	24	⑤ 工事区分表	注)原則〇印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	24	排水工	⑳ 排水工	23	土壌の試験	24	⑥ 発生材の処理等	1 再生資材の利用 下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	25	排水工	㉑ 排水工	24	樹木の植栽基盤整備	24	⑦ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	26	排水工	㉒ 排水工	25	植込み用土	24	⑧ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	27	排水工	㉓ 排水工	26	土壌改良材	24	⑨ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	28	排水工	㉔ 排水工	27	支柱材	24	⑩ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	29	排水工	㉕ 排水工	28	幹巻き用材料	24	⑪ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	30	排水工	㉖ 排水工	29	芝張り	24	⑫ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	31	排水工	㉗ 排水工	30	芝張り	24	⑬ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	32	排水工	㉘ 排水工	31	芝張り	24	⑭ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	33	排水工	㉙ 排水工	32	芝張り	24	⑮ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	34	排水工	㉚ 排水工	33	芝張り	24	⑯ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	35	排水工	㉛ 排水工	34	芝張り	24	⑰ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	36	排水工	㉜ 排水工	35	芝張り	24	⑱ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	37	排水工	㉝ 排水工	36	芝張り	24	⑳ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	38	排水工	㉞ 排水工	37	芝張り	24	㉑ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	39	排水工	㉟ 排水工	38	芝張り	24	㉒ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	40	排水工	㊱ 排水工	39	芝張り	24	㉓ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	41	排水工	㊲ 排水工	40	芝張り	24	㉔ 建設発生土の利用	盛土等使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。	追加特記	建設発生土の搬出	工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所へ搬出するものとして積算している。
	42	排水工	㊳ 排水工	41	芝張り						









5	8 鋼製軽量建具 (標準型鋼製軽量建具を含む)	簡易気密型ドアレットの性能値の適用は建具表による	[5.5.2][5.5.6]	5	19 ガラスロッキ積み	6 木下地等	内装改修工事	「製材の日本農林規格」による製材	[6.5.2]	6 内装改修工事	13 帯電防止床タイ張り	14 誘導用、注意喚起用床材	15 ビニル幅木	16 カーベット敷き	17 合成樹脂塗床	18 フローリング張り	19 畳敷き	20 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	21 軽量鉄骨天井下地	22 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	23 軽量鉄骨天井下地	24 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	25 軽量鉄骨天井下地	26 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	27 軽量鉄骨天井下地	28 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	29 軽量鉄骨天井下地	30 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	31 軽量鉄骨天井下地	32 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	33 軽量鉄骨天井下地	34 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	35 軽量鉄骨天井下地	36 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	37 軽量鉄骨天井下地	38 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	39 軽量鉄骨天井下地	40 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	41 軽量鉄骨天井下地	42 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	43 軽量鉄骨天井下地	44 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	45 軽量鉄骨天井下地	46 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	47 軽量鉄骨天井下地	48 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	49 軽量鉄骨天井下地	50 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	51 軽量鉄骨天井下地	52 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	53 軽量鉄骨天井下地	54 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	55 軽量鉄骨天井下地	56 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	57 軽量鉄骨天井下地	58 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	59 軽量鉄骨天井下地	60 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	61 軽量鉄骨天井下地	62 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	63 軽量鉄骨天井下地	64 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	65 軽量鉄骨天井下地	66 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	67 軽量鉄骨天井下地	68 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	69 軽量鉄骨天井下地	70 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	71 軽量鉄骨天井下地	72 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	73 軽量鉄骨天井下地	74 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	75 軽量鉄骨天井下地	76 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	77 軽量鉄骨天井下地	78 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	79 軽量鉄骨天井下地	80 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	81 軽量鉄骨天井下地	82 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	83 軽量鉄骨天井下地	84 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	85 軽量鉄骨天井下地	86 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	87 軽量鉄骨天井下地	88 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	89 軽量鉄骨天井下地	90 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	91 軽量鉄骨天井下地	92 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	93 軽量鉄骨天井下地	94 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	95 軽量鉄骨天井下地	96 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	97 軽量鉄骨天井下地	98 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	99 軽量鉄骨天井下地	100 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	101 軽量鉄骨天井下地	102 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	103 軽量鉄骨天井下地	104 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	105 軽量鉄骨天井下地	106 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	107 軽量鉄骨天井下地	108 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	109 軽量鉄骨天井下地	110 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	111 軽量鉄骨天井下地	112 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	113 軽量鉄骨天井下地	114 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	115 軽量鉄骨天井下地	116 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	117 軽量鉄骨天井下地	118 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	119 軽量鉄骨天井下地	120 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	121 軽量鉄骨天井下地	122 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	123 軽量鉄骨天井下地	124 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	125 軽量鉄骨天井下地	126 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	127 軽量鉄骨天井下地	128 セっこうボード <sup>①</sup> 張りの他のボード <sup>①</sup> 張り	129 軽量鉄骨天井下地	130 セっこうボード<
---	----------------------------	--------------------------	----------------	---	-------------	--------	--------	------------------	---------	----------	--------------	----------------	----------	------------	-----------	-------------	--------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------	--------------

内装改修工事

21 吸音材

〔表6.13.1〕

種 類	記 号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	RW－B	※25 ・
※ガラスウール吸音ボード32K	GW－B	※25 ・

〔6.14.2〕

施工箇所	壁 紙 の 種 類				防火性能の級別	備 考
	紙質	織物	ビニル	化学繊維		
図示	・	・	○	・	・	※不燃・準不燃・難燃
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃

モルタル、プラスチック面等の下地調整 〔6.14.3〕〔7.2.5〕〔7.2.6〕〔表7.2.4〕〔表7.2.5〕

※RB種 ・ RA種(施工箇所： )

せっこうボード面の下地調整 〔6.14.3〕〔7.2.7〕〔表7.2.7〕

※RB種 ・ RA種(施工箇所： )

〔6.15.1〕

モルタル ・ 現場調合材料

(モルタルは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による)

○既調合材料

既製目地材 ・ ※適用しない ・ 適用する(形状は図示による) 〔6.15.3〕

仕上り厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 〔6.15.5〕〔4.4.9〕

・

〔6.16.3〕

タイルの種類

形状寸法(mm)	耐摩耗性	うわぐすり	役 物	色	備 考
あり	なし	施 無	あり	なし	標準 特注
	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・

タイルの試験張り ※行わない ・ 行う 〔6.16.3〕

タイルの見焼き ※行わない ・ 行う 〔6.16.3〕

コンクリート素地面の処理 ・ 目荒し工法 ・ 〔6.16.3〕

壁タイル張りの工法 〔6.15.5〕〔表6.16.4〕〔表6.16.6〕

内装タイル ※タイル接着剤張り ・ 積上り張り

(20.2.2)

施工箇所	構 法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能(注1)	表面仕上げ材(注2)
図示	○パネ機構法 ・ 溝構法	・ ※50未満	○1.0G ・ 0.6G	○3,000N ・ 5,000N	・帯電防止床タイル ・ ガラスカーペット
	・パネ機構法 ・ 溝構法	・ ※50未満	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3,000N ・ 5,000N	・帯電防止床タイル ・ タイルカーペット

注1：耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フリーアクリルの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。

注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13 帯電防止床タイル張り、16 カーペット敷きによる。

スロープ及びボーダー

※製造所の標準仕様(ただし、構成材は標準仕20.2.2(2)(イ)による)

・図示

コソット等の取付け対応

仕様 ※製造所の標準仕様(コソット本数は別途設備工事)

コソットの箇所数 ※10～15㎡に1箇所程度

配線取出しパネル

フリーアクリル全体面積に対する設置割合 ※20～30%

配線取り出し開口 ※40mm×80mm程度の開口

空調用吹き出しパネル

※無し

・有り(※固定式 ・ 可動式 ： 施工箇所は図示)

(20.2.3)

構造形式	パネ部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	パネ表面仕上げ	遮 音 性(JISによる記号)
※パネ式 ・ スタッド式 ・ スタッドパネ式	・	※鋼板(※0.6 ・ 0.8)	・アルミ樹脂焼付け ・ アルミ樹脂焼付け	・有り

不燃材料の認定 ・有り

(20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式 ・ 電動式
・遮音タイプ		※鋼板	・焼付け塗装	・部分電動式
		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式 ・ 電動式
		※鋼板	・焼付け塗装	・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質 22壁紙張りによる。

遮音性能 ※36dB/500Hz以上 ・ 36dB/500Hz未満

パネル圧接装置操作方法 ※製造所標準仕様 ・

22 トイレブース

表面仕上げ材 ○アルミ樹脂系化粧板(標準色 アルミコーナエッジ付き) (20.2.5)

・アルミ樹脂系化粧板(標準色 アルミコーナエッジ付き)

脚部(ステンレス製) ※幅木タイプ ・ 支柱タイプ

ドアエッジ ※曲面形 ・ フラット形 ・ 製造所の仕様

29 階段滑止め

材 種 ※ステンレス(SUS304) ・ アルミニウム ・ 黄銅 (20.2.6)

形 状 ※ビニルタイル入り

両端フラットエンド ※有り(・ステンレス製 ※ビニル製) ・ 無し

・ビニルタイル無し

幅(mm) ・ 50 ・ 65 ・ 75 ・

取付け工法 ※接着工法 ・ 埋込み工法

内装改修工事

30 階段手すり

種 類

※集成材材リブ加工仕上げ(市販品 径 約45mm又は約60mm)

・ビニル製ハンドレール(幅 約50mm)

・

(20.2.8)

種類	区分	種類	寸法(mm)	備 考
・黒板	※焼付け	・鋼製		※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分
・ホワイトボード	・	・ほうろう		
	・	・		※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分

(20.2.10)

材 種	寸法(mm)	突出型	面付型	文字形式	受 金 具
※塩化ビニル製	※260×80×5	ヶ所	ヶ所	・文字書込み	※ステンレス(SUS304)
・アクリル樹脂製	・	ヶ所	ヶ所	・文字彫込み	・
・県産杉板材	※260×80×12	ヶ所	ヶ所	・カギ型シート	

・既存再使用する(養生方法： ) 〔2.3.1〕〔5.1.6〕

・新設する (20.2.12)

形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横形	※キ7式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミ合金製 ・ 樹脂製 ・ 木製	※25 ・ 35 ・ 100
・縦形	・1本操作コード ・ 焼付け塗装仕上げのアルミスラット ・ 2本操作コード ・ 特殊防炎加工のガラススラット		・ 80 ・ 100

〔5.1.6〕

・既存再使用する

・新設する

※市販品(アルミ製 押出し型材)

使用区分		溝幅×深さ(mm)
・横形ブラインド	※90×150	・ 120×150 ・
・縦形ブラインド	※120×80	・ 150×80 ・
・カーテン(又はレース共)	※150×80	・ 180×80 ・
・カーテン横形ブラインド	※180×150	

色彩 ・ B－1 ・ B－2 ・ プラン系 ・ プラック ・ ステイナー

・図示

(20.2.13)

操作方法	幅及び高さ	材 種	品質等
・スプリング式	・	・ガラス繊維製	
・コード式(チェーン式)	・	・合成・天然繊維製	
・電動式	・	・木製	

巻取りタイプ、ワイトバー、操作コード、操作チェーンの材料

※製造所の仕様 ・

カーテン

・既存再利用する(養生方法： ) 〔2.3.1〕〔5.1.6〕

・新設する (20.2.14)(表20.2.1)

取付箇所	形 式	開閉操作方式	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工品
・	・シングル	・片引き	・フリスひだ	・
・	・ダブル	・引分け	・箱ひだ、つまひだ	・
		・電動	・フレンヒだ、片ひだ	

暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・

カーテンレール

・既存再使用する 〔5.1.6〕

・新設する (20.2.14)

強さによる区分	材 料	仕 上 げ	形 状
※10-90	※アルミニウム製	※アルマイト	※角形
・	・ステンレス製	・	・

目地形状

適用箇所

寸法(mm)

○顔縁タイプ 下記以外全て ※450×450

・目地タイプ ※図示 ・ 600×600

・天井仕上げ材がDRの範囲

本体の材質

目地の材質

適用箇所

寸法(mm)

※アルミ製 ※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅 下記以外全て ※600×600

・ステンレス製

39 くつつきマット

市販品

材質 ・塩化ビニル製(コイル状、ステンレス製受枠)

・ビニル製(ステンレス製受枠)

・硬質アルミニウム製(受枠とも)

・ステンレス製(受枠とも)

41 人研ぎ製流し等

※サンダー掛け目荒らし後、クワック等を球針系サンダー処理し、エッジ樹脂系塗床材を厚さ1.0mm塗布し仕上げる。

・再研ぎ出し(図示による)

内装改修工事

42 しっくい塗り

※施工箇所

室 名	部 位

※左官業者

新潟県左官業協同組合(平成26年12月31日に解散した新潟県左官同業会を含む。以下、同様。)主催の「漆喰塗り技能者資格講習会」の修了者立ち会いのもとで施工すること。ただし、これによることができない場合は、理由及び施工者を明らかにした書面を提出し、監督員の承諾を受けて施工するものとする。

※材料、下地、調合、塗り厚、工程及び工法

使用する材料については、材料の品質が確認できる品質規格票(証明書)等を監督員へ提出し、承諾を得たものとする。

上記以外については、「既調合しっくい塗り標準仕様書」(新潟県土木部都市局営繕課)による。

7 塗装改修工事

① 塗装業者

※(社)日本塗装工業会の会員 ・ 監督員の承諾する業者

② 材料

③ 下地調整

〔7.2.1～7.2.7〕

種 別	施 工 箇 所
・RA種	・図示による
※RB種	※RA種、RC種以外の全て(内部) ・ 図示による
・RC種	・図示による

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 〔表7.2.4～表7.2.6〕

※行う(補修範囲及び補修方法は監督員の指示による) ・ 行わない

〔7.3.2〕〔7.3.3〕〔表7.3.1〕～〔表7.3.4〕

下地の種類	錆止め塗料の種別	塗替えの種別	新規塗りの種別
鉄鋼面	※A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	見掛け部分 ※A種 ・ B種
		※C種	見隠れ部分 ・ A種 ※B種
亜鉛めっき面	※A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	新規鋼製建具等※A種 ・ B種
	・ C種	※C種	その他 ・ A種 ※B種

〔7.4.3〕～〔7.4.5〕〔表7.4.1〕～〔表7.4.3〕

下地の種類		塗替えの種別	新規塗りの種別
木部		・ A 種 ※ B 種 ・ C 種	・ A 種 ・ B 種
鉄鋼面	※亜鉛めっき面 ※ A 種 ・ B 種	・ A 種 ・ B 種	見掛け部分 ※ A 種 ・ B 種
亜鉛めっき面	※ A 種 ・ B 種	・ A 種 ・ B 種	見隠れ部分 ・ A 種 ※ B 種
		・ A 種 ・ B 種	新規鋼製建具等 ※ A 種 ・ B 種
		・ A 種 ・ B 種	その他 ・ A 種 ※ B 種

〔7.5.2〕〔表7.5.1〕

塗替えの種別 ・ A 種 ※ B 種

新規塗りの種別 ・ A 種 ※ B 種

〔7.7.2〕〔表7.7.1〕

下地の種類	工程等	塗替えの種別	新規塗りの種別
コンクリート、モルタル面等	下地調整	・ RA 種 ※ RB 種 ・ RC 種	〔塗料その他の欄による
	塗り種別	・ A 種 ※ B 種	・ A 種 ※ B 種

〔7.8.2〕～〔7.8.4〕〔表7.8.1〕～〔表7.8.3〕

下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別	上塗り
鉄鋼面	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種	※ A 種	・ 1 級
			・ 2 級
			・ 3 級
亜鉛めっき鋼面	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種	※ A 種	・ 1 級
			・ 2 級
			・ 3 級
コンクリート面及び押出成形モノ板面	・ A－1 種 ・ A－2 種	・ A－1 種	
	・ B－1 種 ・ B－2 種	・ B－1 種	
	・ C－1 種 ・ C－2 種	・ C－1 種	

〔7.9.2〕～〔7.9.5〕〔表7.9.1〕～〔表7.9.4〕

下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別
コンクリート面、モルタル面等	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種	・ A 種 ※ B 種
木部	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種	※ A 種 ・ B 種 ・ C 種
鉄鋼面	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種	・ A 種 ※ B 種
亜鉛めっき面	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種	・ A 種 ※ B 種

〔7.10.2〕〔表7.10.1〕

塗替えの種別 ・ A 種 ※ B 種 ・ C 種

新規塗りの種別 ・ A 種 ※ B 種

⑩ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)

7 塗装改修工事

11 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)

〔7.11.2〕〔表7.11.1〕

塗 替 え の 場 合		新規塗りの種別
下地調整	塗替えの種別	・ A 種 ※ B 種
RB 種の場合	※ A 種 ・ B 種 ・ C 種	下地調整は表の注意書きによる

塗替えの種別 ・ A 種 ※ B 種

新規塗りの種別 ・ A 種 ※ B 種

〔7.12.2〕〔表7.12.1〕

〔7.13.2〕〔表7.13.1〕

適 用 箇 所		塗 料
・	・油性 ・ 水性	
・	・油性 ・ 水性	

塗替えの種別 ・ A 種 ※ B 種

新規塗りの種別 ・ A 種 ※ B 種

〔7.14.2〕〔表7.14.1〕

8-1 耐震改修範囲以外の躯体改修工事

1 コンクリートの類別及び強度、品質

レディーミクストコンクリートの類別 〔8.1.3〕〔表8.1.1〕

※Ⅰ類 ・ Ⅱ類

普通コンクリートの設計基準強度 〔8.1.3〕〔8.1.4〕

設計基準強度F<sub>c</sub>(N/mm<sup>2</sup>)

適用箇所

スラン

※24

・

・

コンクリートの仕上りの平たんさ ・ a種 ・ b種 ・ c種 〔8.1.4〕〔表8.1.5〕

〔8.2.1〕〔表8.2.1〕

種類の記号	呼 び 名 (mm)
・ S D 2 9 5	・ D 1 6 以下
・ S D 3 4 5	・ D 1 9 以上
・	

〔8.2.4〕

あと施工アンカー

あと施工アンカーの材料

・金属拡張アンカー

※接着系アンカー ・ 樹脂系の種類 ※有機系

〔8.2.5〕〔表8.2.3〕

4 セメントの種類

※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュポルトA種

・普通エコセメント

・高炉セメントB種( )

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7 d 352J/g以下
	2 8 d 402J/g以下

〔8.2.5〕

5 骨材の品質

アルカリ反応性による区分

・A

※B(コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m<sup>3</sup>)

〔8.2.5〕

6 混和材料の種別

※混和剤 ・ 混和材

〔8.3.4〕〔表8.3.3〕

7 鉄筋の継手

※重ね継手 ・

〔8.3.5〕〔表8.3.6〕

8 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、目地底から算定する。

・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

施 工 箇 所	改修仕様表8.3.6の値に加える寸法(mm)
柱、梁及び床などの外気に接する打放し面	※10 ・

〔8.13.2〕

9 鉄骨の工作図

高力ボルト及び普通ボルトの端頭距離、ボルト間隔、ゲージ等

※建築工事監視指針による ・ 図示

製 図

管理技術者

審 査

承 認

監 理

監 理

監 理

監 理

株式会社 ワシツ設計

一級建築士事務所 新潟県知事登録(ワ) 第495号

一級建築士 第361707号 管理建築士 荒瀬 加恵郎

構造設計 一級建築士 第 号

構造設計 一級建築士 第 号

設備設計 一級建築士 第 号

設備設計 一級建築士 第 号

CLASS

DATE

SCALE

No.

工事名称

総合支援学校職員室等増築(建築主体)工事

図面名称

建築改修工事仕様書 4



10追加特記

①公共事業労務費調査への協力

※協力する

2工事監理方式

共同監理　・有り　　・無し

③適用基準等

・営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室）  
※工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課作成）

4総合図

※作成する

⑤工事成績評定

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。  
（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

⑥工事区分表

注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項　　目		建	電	空	衛	昇	備　考
躯体関係							
1.RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリフ材及び取付け	○	○	○	○	○	
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○					
スリフ・型枠の穴埋め		○	○	○	○	○	
	S・SRC造貫通鋼管スリフ・補強	○					
	使用されたスリフの穴埋め	○	○	○	○	○	
	予備スリフの穴埋め	○	○	○	○	○	
3.設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○					
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○	○	○			
	屋外・屋上の基礎	○					
	屋上基礎で押さえコンにアッケーしない軽微なもの		○	○	○		
	機器取付け用フッカー・架台		○	○	○		
	屋内受水タンクの基礎	○					
仕　上　げ　関　係							
軽鉄天井・壁下地	補強を用するボードの切り込み及び下地の補強	○					
	補強を要しないボードの切り込み		○	○	○		
	開口部の墨出し		○	○	○		
電　気　関　係							
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	○		二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				一次側
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線			○	○		
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）							
天井材	取外し再取付（各種配管配線作業用）	○	△	△	△		小規模は要協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△		小規模は要協議
流し台、ガス台		○					
便所手洗いカウンター		○					衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台						○	
ガス漏れ警報器						○	
24H換気扇	機器納入					○	取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備
湯沸器	機器納入					○	取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備

⑦発生材の処理等

1再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再　生　資　材　名	規　格	使　用　箇　所	再資源化施設名・所在地	備　考

2建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発　注　機　関	工　事　名	発　生　場　所	施工会社名・連絡先	備　考

3建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称
工事場所／施設所在地
連　　絡　　先
仮置場所の有無
備　　考

10追加特記

4建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名
処　理　施　設　名　称
施　設　所　在　地
連　　絡　　先
備　　考

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

8化学物質の濃度測定

1)測定時期

[1.6.9]

測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調と設備のように換気を行いながら空調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。

測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。

※測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6)の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質

※ホルムアルデヒド（指定値0.08ppm以下）

※トルエン（指定値0.07ppm以下）

※キシレン（指定値0.05ppm以下）

※エチルベンゼン（指定値0.88ppm以下）

※スチレン（指定値0.05ppm以下）

・パラジクロロベンゼン（指定値0.04ppm以下）

3)測定室

・室（測定箇所箇所）

・室（測定箇所箇所）

・室（測定箇所箇所）

・室（測定箇所箇所）

4)測定方法

測定機器

※パッシブ型採取機器

・監督員の承諾する機器

測定要領（パッシブ型測定法の場合）

※測定前の措置

測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。

※測定は次のイ～ハによる。

イ上記測定前の措置の状態のまま測定する。

ロ測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。

ハ測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

※その他

上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空調と設備は稼働させたまとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたまとする。

※測定結果の分析

測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

5)測定結果が指針値を超えた場合の措置

※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4)、5)により、測定を行う。

6)報告書の提出

※完了検査日までに報告書を提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。

9中間技術検査

低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

製図

管理技術者

審査

承認

監査

監査

監査

監査

株式会社 ワシツ設計

一級建築士事務所 新潟県知事登録(ツ)第 495 号  
一級建築士 第 361707 号 管理建築士 齋田 加恵郎

構造設計 一級建築士 第 号  
構造設計一級建築士 第 号  
設備設計 一級建築士 第 号  
設備設計一級建築士 第 号

CLASS

DATE

SCALE

No.

工事名称  
総合支援学校職員室等増築（建築主体）工事

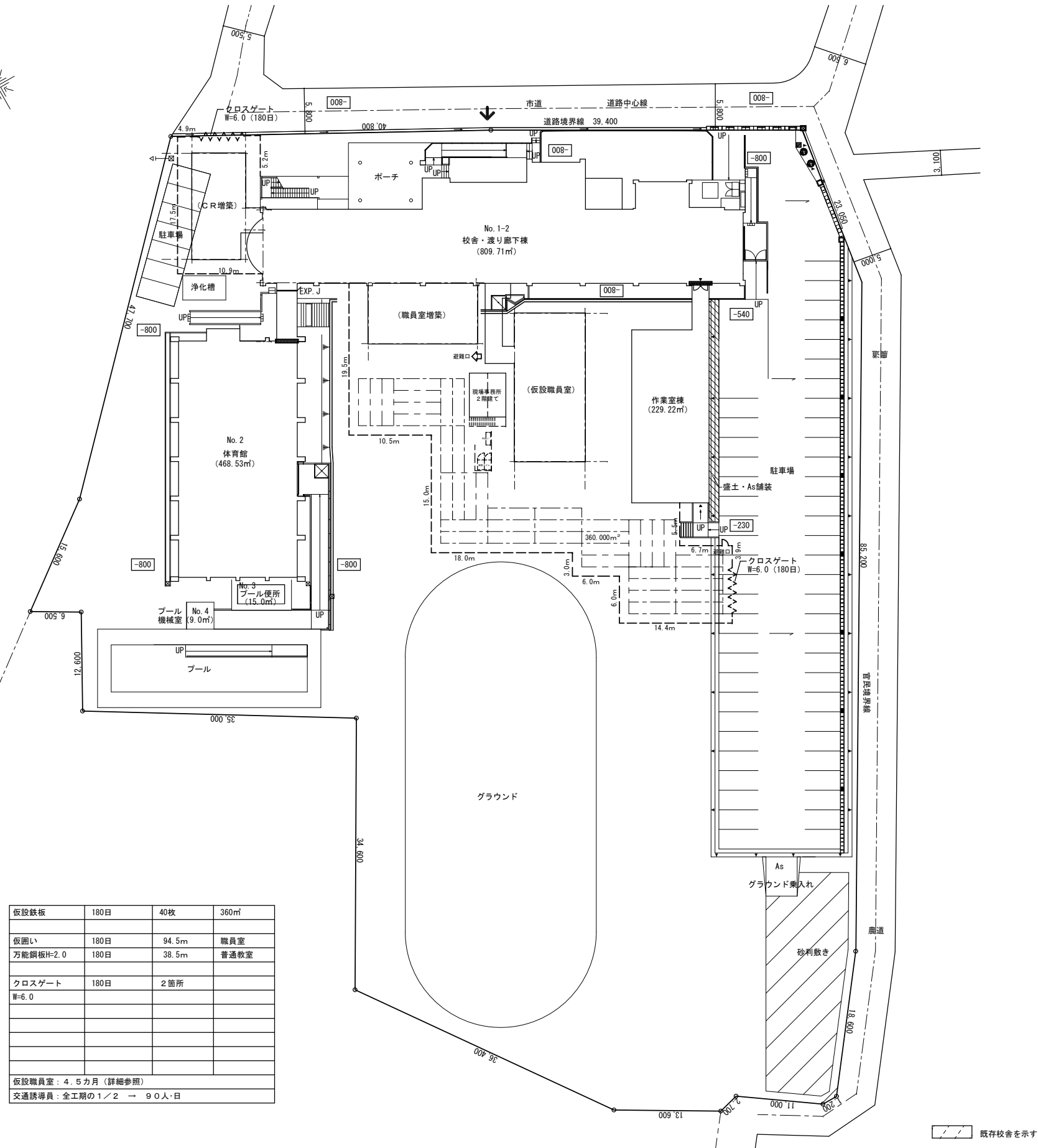
図面名称  
建築改修工事仕様書 6

A-276

R5.03

FREE

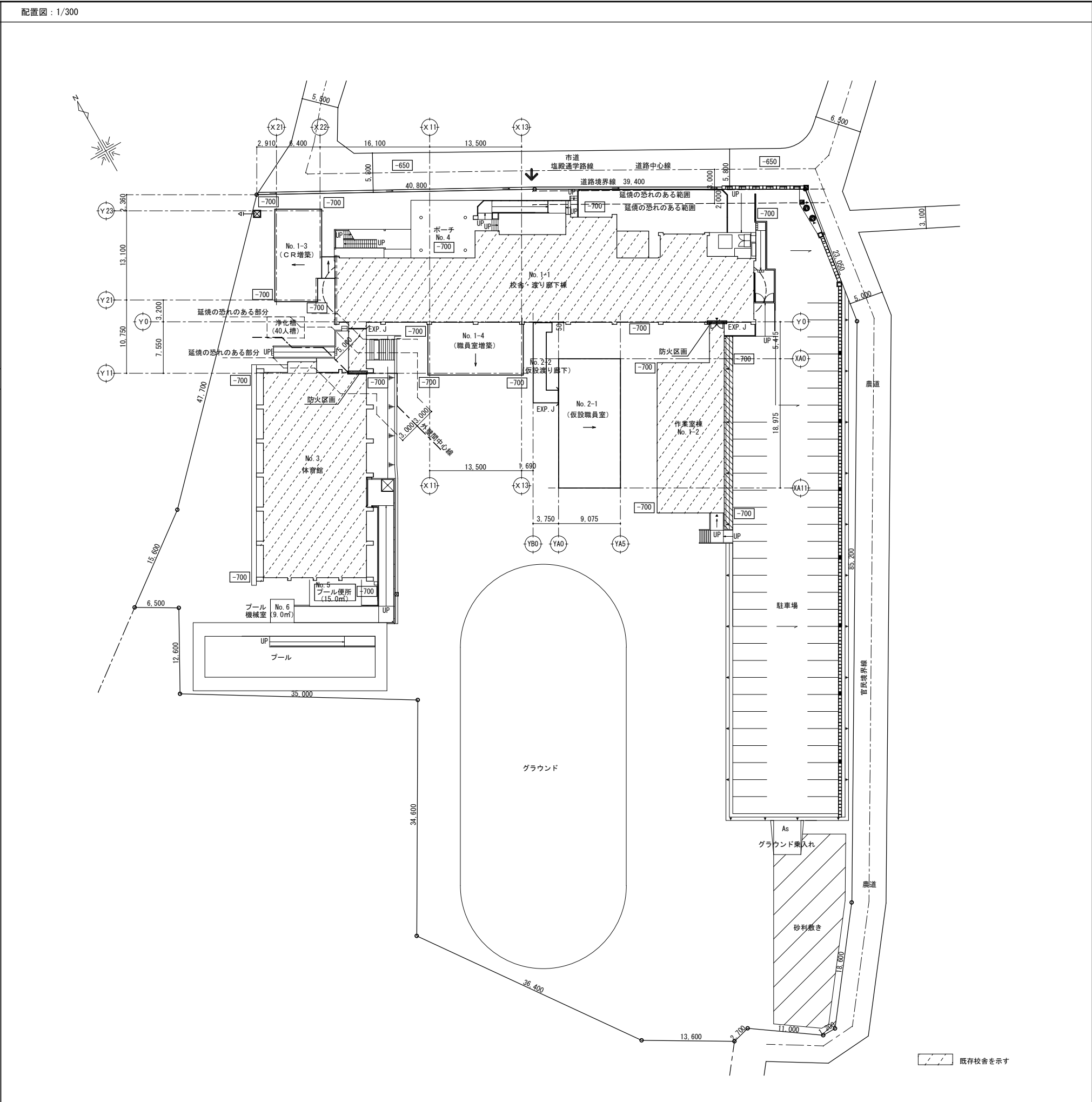
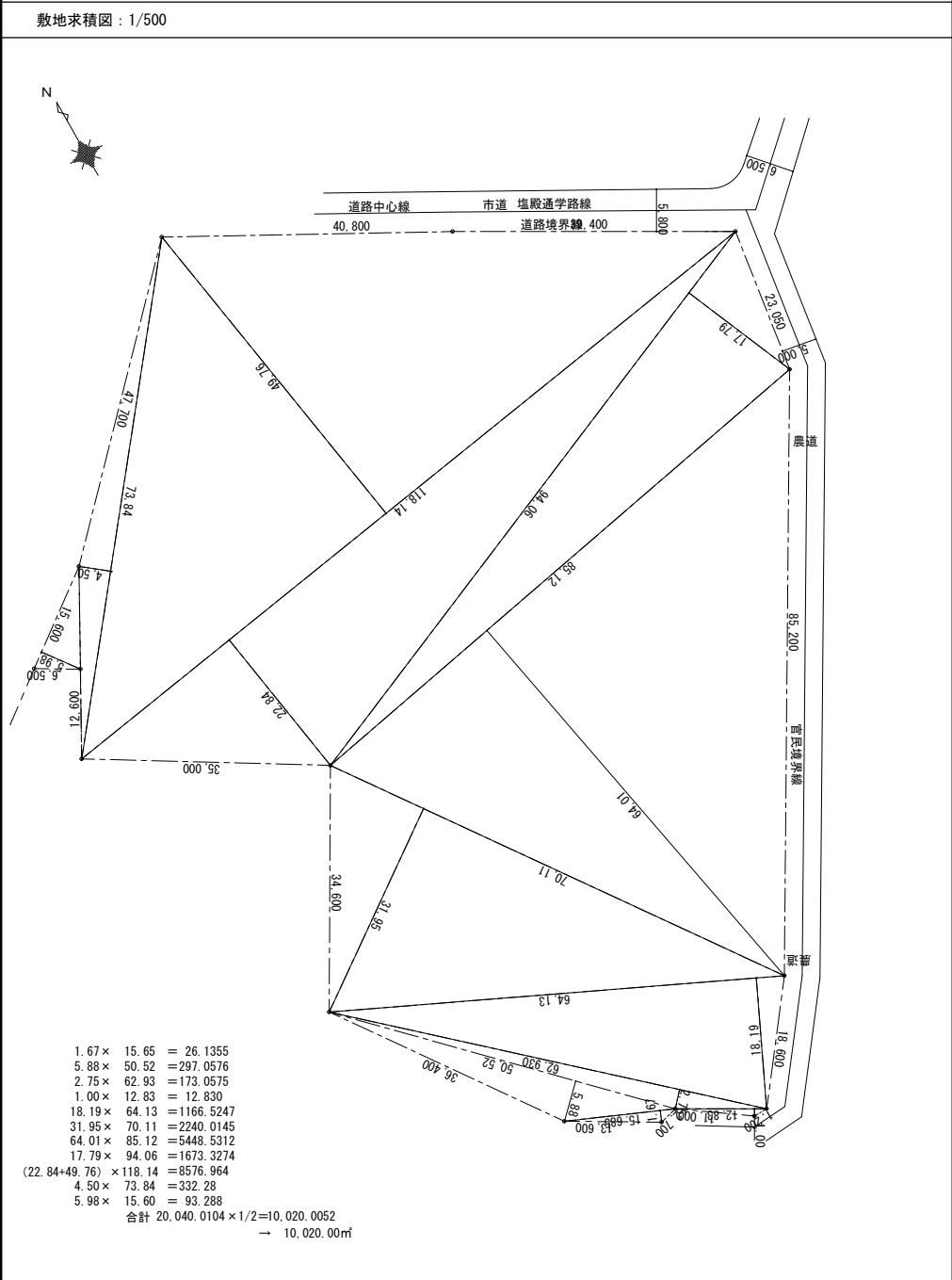
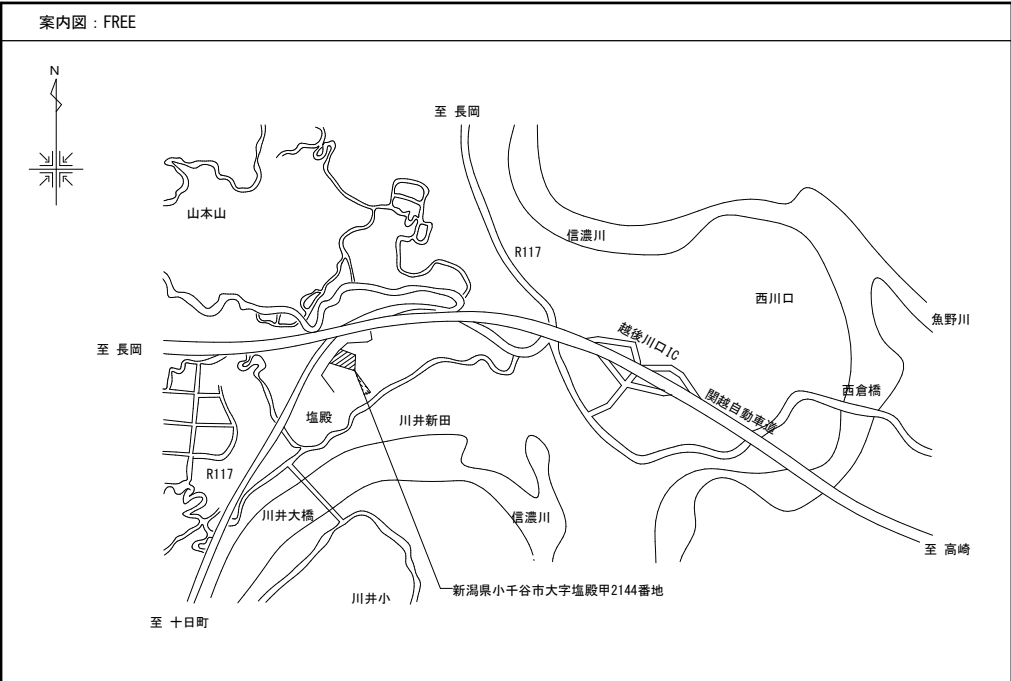
11  
A



仮設鉄板	180日	40枚	360㎡
仮囲い	180日	94.5㎡	職員室
万能鋼板H=2.0	180日	38.5㎡	普通教室
クロスゲート	180日	2箇所	
W=6.0			
仮設職員室：4.5カ月（詳細参照）			
交通誘導員：全工期の1/2 → 90人・日			

設計概要書												
1. 工事概要	工事名称	総合支援学校職員室等増築工事										
	建設地（住所）	小千谷市大字塩殿甲2 1 4 4番地										
	主要用途	学校（総合支援学校）										
	工事種別	新築・増築）別棟増築・増改築・改築・大規模の修繕・大規模の模様替・用途変更・室内装飾・移転・その他（ ）										
	建築主（住所・氏名）	新潟県小千谷市城内2丁目7番5号 小千谷市長 宮崎悦男										
2. 敷地概要	地名地番（住居表示）	小千谷市大字塩殿甲2 1 4 4番地										
	敷地面積	10,020.00 m <sup>2</sup>										
	用途地域	第一種低層住居専用・第二種低層住居専用・第一種中高層住居専用・第二種中高層住居専用・第一種住居・第二種住居・準住居・田園住居										
		近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用（指定なし）										
	防火区域	防火地域・準防火地域（指定なし）										
	都市計画区域内外の別等	都市計画区域（市街化区域・市街化調整区域（区域区分非設定）・都市計画区域外（法第22条地域）										
	その他の地域地区	特別工業地区・特別用途地区（小売店舗・事務所・厚生・娯楽・観光）・美観地区・再開発事業区域・容積地区（第 種）										
		空地地区（第 種）・特定街区・改良地区・文教地区（第 種・風致地区（第 種）										
		高度地区（第 種）・駐車場整備地区・電波伝搬障害防止地区・多雪地区・災害危険地区・緑地地区										
		土地区画整理事業地区・宅地造成工事規制区域・国立公園・国定公園・河川敷・その他（ ）										
	3. 規模	階 数	地下 0 階・地上 2 階・塔屋 0 階									
建物高さ		申請（増築）：最高高さ 15.480m 最高軒高 14.860m（既存最高高さ 19.550m、既存最高軒高 18.200m）										
増築予定		なし） ・ あり（水平・上階）										
法定構造		耐火建築物）準耐火建築物（イ・ロ1号・ロ2号）・防火構造・木造・その他										
4. 構造 【申請部分】	構 造	SRC造・RC造・PC造（鉄骨造）・軽量鉄骨造・CB造・木造・その他（ ）										
	構造形式	ラーメン）壁式・立体トラス・折版・その他（ ）										
	基 礎	地盤支持（ベタ・布（独立）・杭支持（RC・PHC・WP・SP・アースドリル・ベノト・深礎）・その他（ ）										
5. 面積表		申請部分 （増築部分）	申請部分 （既存部分）	申請外部分 （別棟）	申請部分 （仮設部分）	合 計	建ぺい率・容積率	備 考				
	建築面積	204.47 m <sup>2</sup>	1,507.46 m <sup>2</sup>	24.00 m <sup>2</sup>	198.82 m <sup>2</sup>	1,735.93 m <sup>2</sup> (1,934.75 m <sup>2</sup> )	建ぺい率 17.32% (19.31%) ≦ 70% 容積率 23.48% (25.47%) ≦ 200%	カッコ内は仮設建築物を含む 数値を示す。 カッコ内は仮設建築物を含む 数値を示す。				
	延べ面積	204.47 m <sup>2</sup>	2,125.12 m <sup>2</sup>	24.00 m <sup>2</sup>	198.82 m <sup>2</sup>	2,353.59 m <sup>2</sup> (2,552.41 m <sup>2</sup> )						
6. 棟別面積表	【 建築面積 】	申請部分 （増築部分）		申請部分 （既存部分）		申請外部分 （別棟）		合 計	備 考			
	棟 名	職員室	普通教室	校舎棟	屋内運動場棟	渡り廊下棟	プール機械室棟 （CB造 1階）	プール便所棟 （S造 1階）	1,735.93 m <sup>2</sup>	【仮設建築物】 1.職員室・校長室（軽量鉄骨造 1階：198.82 m <sup>2</sup> ） ※ 増築竣工後、解体撤去		
	棟別建築面積	108.01 m <sup>2</sup>	96.46 m <sup>2</sup>	1,022.68 m <sup>2</sup>	468.53 m <sup>2</sup>	16.25 m <sup>2</sup>	9.00 m <sup>2</sup>	15.00 m <sup>2</sup>				
	（小計）	204.47 m <sup>2</sup>		1,507.46 m <sup>2</sup>		24.00 m <sup>2</sup>						
	【 延べ面積 】	申請部分 （増築部分）		申請部分 （既存部分）		申請外部分 （別棟）		合 計	容積率対象			
	階 別	（職員室） （S造 1階）	（普通教室） （S造 1階）	校舎棟 （RC造 2階）	屋内運動場棟 （S造 1階）	渡り廊下棟 （S造 1階）	プール機械室棟 （S造 1階）	プール便所棟 （S造 1階）		申請部分 （増築部分）	申請部分 （既存部分）	申請外部分 （別棟）
	塔屋	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	23.12 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	23.12 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	23.12 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>
	2階	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	685.60 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	685.60 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	685.60 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>
	1階	108.01 m <sup>2</sup>	96.46 m <sup>2</sup>	943.63 m <sup>2</sup>	456.52 m <sup>2</sup>	16.25 m <sup>2</sup>	9.00 m <sup>2</sup>	15.00 m <sup>2</sup>	1,644.87 m <sup>2</sup>	204.47 m <sup>2</sup>	1,416.40 m <sup>2</sup>	24.00 m <sup>2</sup>
	（小計）	108.01 m <sup>2</sup>	96.46 m <sup>2</sup>	1,652.35 m <sup>2</sup>	456.52 m <sup>2</sup>	16.25 m <sup>2</sup>	9.00 m <sup>2</sup>	15.00 m <sup>2</sup>		204.47 m <sup>2</sup>	2,125.12 m <sup>2</sup>	24.00 m <sup>2</sup>
合 計	204.47 m <sup>2</sup>		2,125.12 m <sup>2</sup>		24.00 m <sup>2</sup>		2,353.59 m <sup>2</sup>					
7. 特記事項 【増築概要】	（1）職員室増築工事：耐火建築物				（3）既存職員室改修工事							
	-1.校舎棟（RC造 2階）グラウンド側に職員室（S造 1階）を増築。 ※ 主要構造部 半乾式ロックウール吹付（1時間耐火 t=30）				-1.職員室拡張に伴う改修（床・壁・天井） 湯沸室新設							
	-2.既設犬走・スロープ解体撤去（増築に伴う外構排水・設備配管等の切回しを含む）				-2.生徒用トイレ新設（男女共介助）							
	-3.				-3.工事期間中仮設校舎建設（軽量鉄骨造 平屋）※ 増築竣工後、解体撤去							
	-4.											
	（2）普通教室増築工事：耐火建築物				（4）その他 上記増築及び改修に伴う電気設備・機械設備改修工事							
-1.校舎棟（RC造 2階）西側に普通教室（S造 1階）を増築。 ※ 主要構造部 半乾式ロックウール吹付（1時間耐火 t=30）												
-2.既設昇降階段解体撤去（増築に伴う外構排水・設備配管等の切回しを含む）												
-3.												
										建築面積（A+B）		
										延床面積（A+B）		
										204.47		
										204.47		
										</		



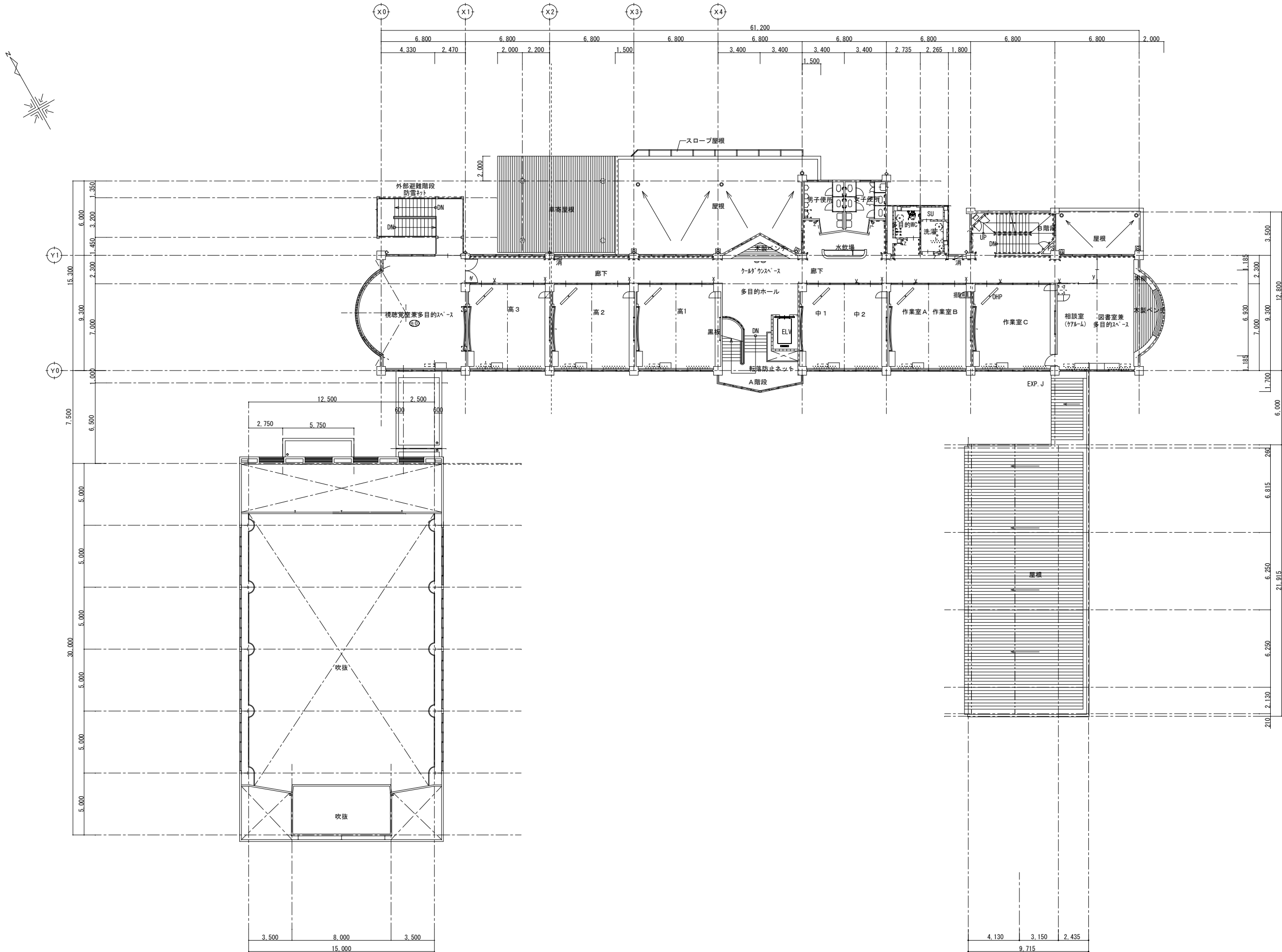


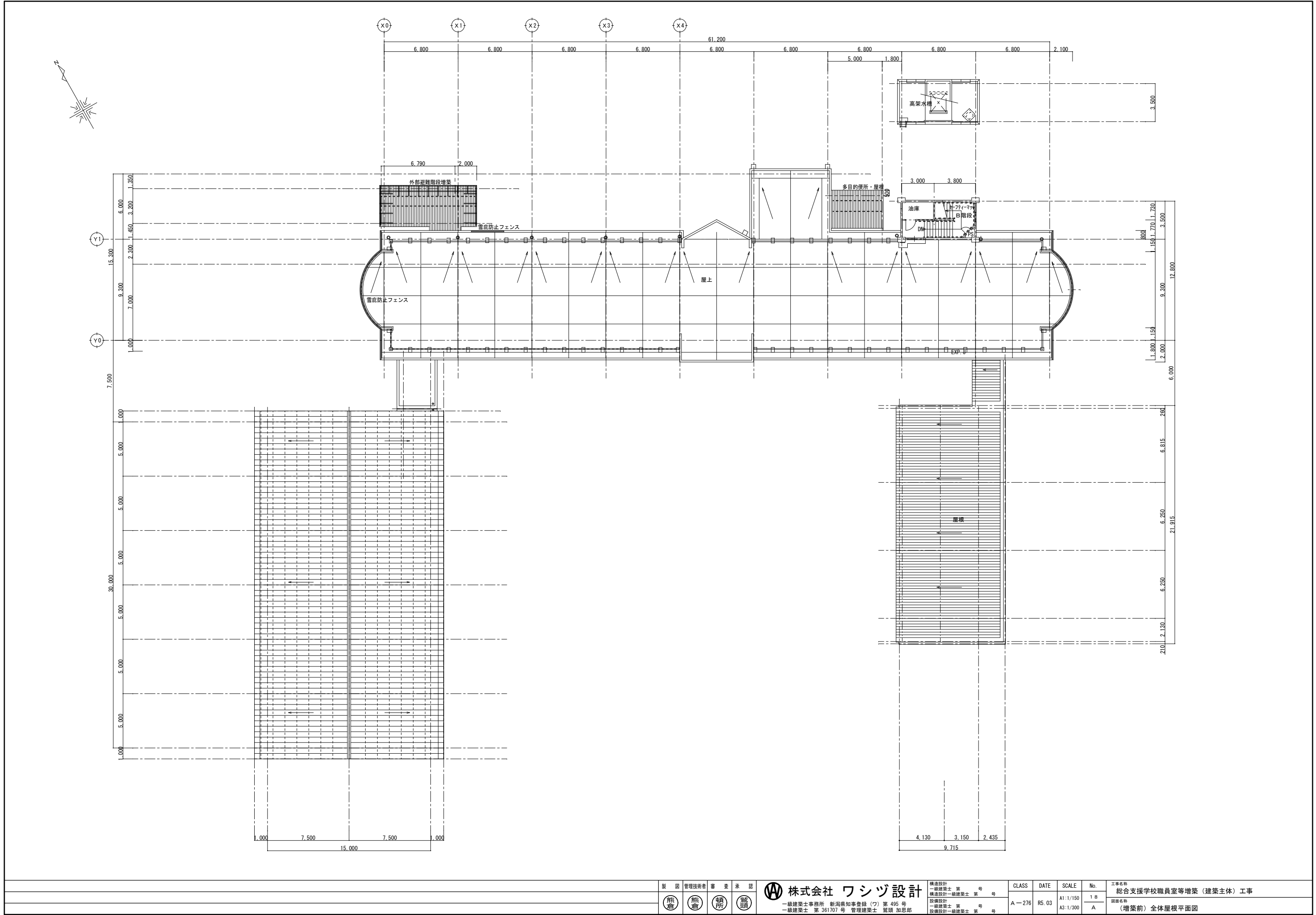
製 図 管理技術者 審 査 承 認										株式会社 ワシツ設計 一級建築士事務所 新潟県知事登録(ワ) 第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 鷺頭 加恵郎	構造設計 一級建築士 第      号 構造設計一級建築士 第      号	CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称
熊倉	熊倉	鷺頭	加恵郎	A-276	R5.03	A1:1/300 A3:1/600	1-4 A	総合支援学校職員室等増築（建築主体）工事								
								設備設計 一級建築士 第      号 設備設計一級建築士 第      号	図面名称 案内図・配置図・敷地求積図							

[illegible]

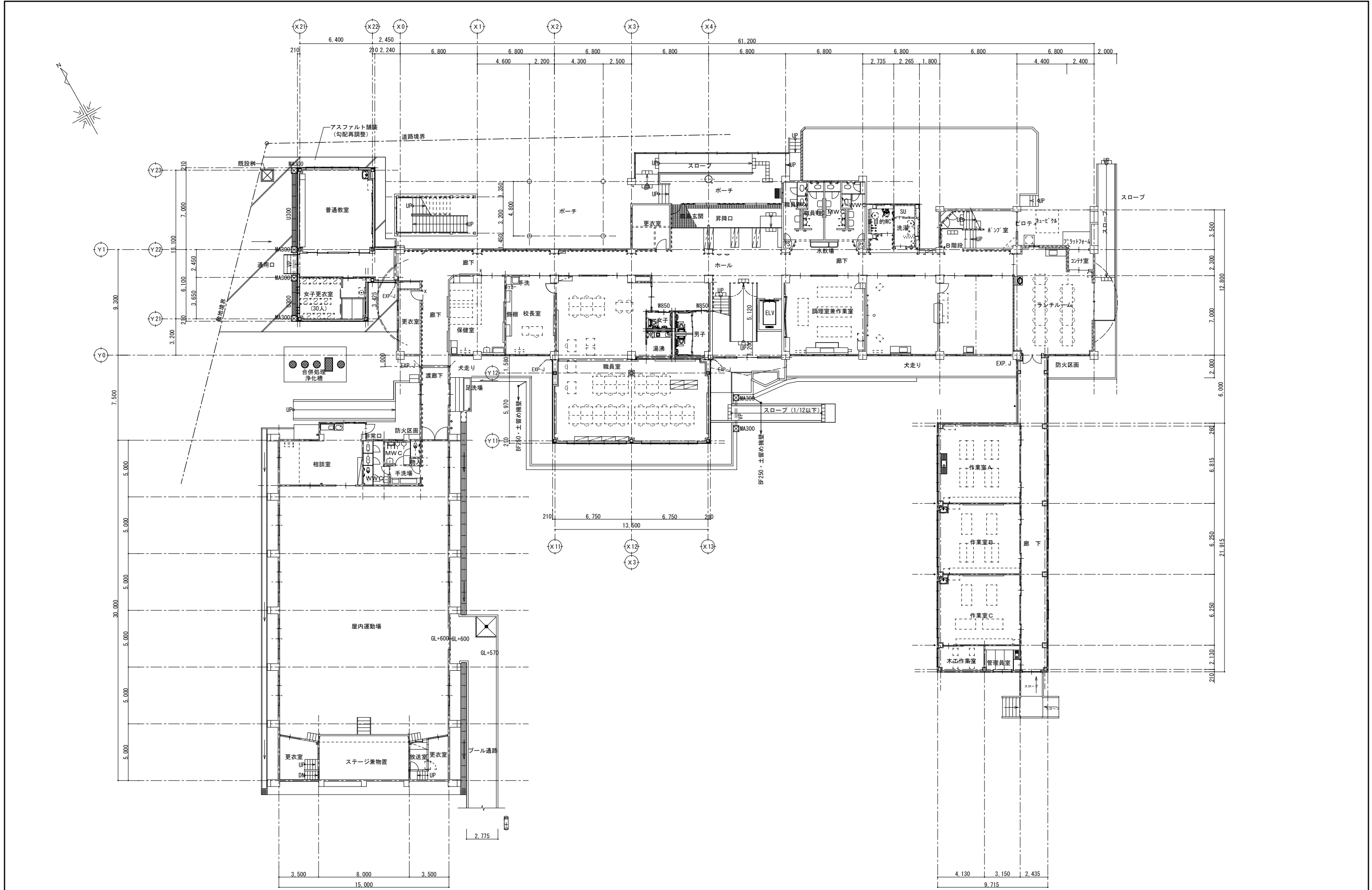
内部仕上表																				
区分	階	室名	区分	LEVEL (F.L.±)	CH	床 (上段：下地、下段：仕上)	巾 木	壁 (上段：下地、下段：仕上)	天 井 (上段：下地、下段：仕上)	廻縁	カーテン ボックス	カーテン	室名札	備 考						
既存校舎	1	職員室	改修前	±0	2,000	モルタル金ゴテ下地 長尺塩ビシートt=2.0 (撤去)	モルタル金ゴテ下地 H=100、E.P. ビニル巾木 H=100 (撤去)	モルタル金ゴテ下地、E.P. (新規クロス面下地調整：左官面・ボード面) ×4通り、L.G.S.W:65 外壁側、L.G.S.W:45 石膏ボードt=12.5、E.P. (廊下側一部W2壁撤去)	L.G.S. 化粧石膏ボードt=9.5 (下地共撤去)	塩ビ製 一部撤去	木製 撤去	ブラインド 撤去		掲示板、行事掲示板、ホワイトボード (撤去) 造り付家具、流し台 (撤去)						
		職員室	改修後	+40	2,960	既存床仕上材撤去、下地調整の上 OAフロア (H=40)、帯電防止タイルカーペットt=6.0	E.P.面再塗装 (下地調整) ビニル巾木 H=100	L.G.S. 石膏ボードt=12.5 ビニルクロス	L.G.S. 化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	-			掲示板、ホワイトボード (新設)						
		廊下	改修後	±0	2,500	既存床仕上材撤去、下地調整の上 ビニル床シートt=2.0 (ワックスフリー)	ビニル巾木 H=100	L.G.S. 石膏ボードt=12.5 ビニルクロス	L.G.S. 化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	-	-	△ △P	△：職員室サイン、△P：トイレサイン、掲示板 (新設) 消火器ボックス (床置)						
		MWC	改修後	±0	2,500	既存床仕上材撤去、下地調整の上 防汚ビニル床シートt=2.0 (ワックスフリー)	床材立上げ H=150 アルミ製見切り	廊下間仕切り：耐火間仕切り (W1) +化粧ケイカル板t=6 L.G.S. 石膏ボードt=12.5 化粧ケイカル板t=6	L.G.S. 化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	-	-	□	間仕切壁 (グラスウール 24K t=50 充填) ライニング、壁点検口450角						
		WWC	改修後	±0	2,500	既存床仕上材撤去、下地調整の上 防汚ビニル床シートt=2.0 (ワックスフリー)	床材立上げ H=150 アルミ製見切り	廊下間仕切り：耐火間仕切り (W1) +化粧ケイカル板t=6 L.G.S. 石膏ボードt=12.5 化粧ケイカル板t=6	L.G.S. 化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	-	-	□	間仕切壁 (グラスウール 24K t=50 充填) ライニング						
		湯沸	改修後	+40	2,500	既存床仕上材撤去、下地調整の上 OAフロア (H=40)、帯電防止タイルカーペットt=6.0	ビニル巾木 H=100	L.G.S. 石膏ボードt=12.5 化粧ケイカル板t=6	L.G.S. 化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	-	-		ミニキッチン L=1500 消火器ボックス (床置)						
増築校舎	1	職員室	増築	+40	2,700	コンクリート直均し OAフロア (H=40)、帯電防止タイルカーペットt=6.0	ビニル巾木 H=100	L.G.S. 石膏ボードt=12.5 ビニルクロス	L.G.S. 化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	アルミ製	ブラインド								
既存校舎	1	通用口・物入	改修前	-100	2,400	モルタル金ゴテ下地 長尺塩ビシートt=2.0 (撤去)	モルタル金ゴテ下地、H=100、E.P. ビニル巾木 H=100 (撤去)	モルタル金ゴテ下地、E.P. (左官面下地調整) L.G.S.W:65、石膏ボードt=12.5 E.P. (撤去)	L.G.S. 化粧石膏ボードt=9.5 (下地共撤去)	塩ビ製 撤去				既設物入木製建具 (撤去) 既設アルミ製建具 (撤去)、W700×H2300						
		廊下	増築	±0	2,500	コンクリート直均し (a種) ビニル床シートt=2.0 (ワックスフリー)	ビニル巾木 H=100	コンクリート解体部モルタル金ゴテ下地 E.P. L.G.S.W:65 石膏ボードt=12.5 E.P.	L.G.S. 化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製										
増築校舎	1	普通教室	増築	±0	2,700	コンクリート直均し (a種) ビニル床シートt=2.0 (ワックスフリー)	ビニル巾木 H=100	L.G.S. グラスウールt=50充填 石膏ボードt=12.5 ビニルクロス 廊下間仕切り：耐火間仕切り (W1) ビニルクロス	L.G.S. 化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	アルミ製	カーテン	△	ライニング ビクチャーレール、ホワイトボード、掲示板 掃除用具入れ、収納棚						
		女子更衣室	増築	±0	2,500	コンクリート直均し (a種) ビニル床シートt=2.0 (ワックスフリー)	ビニル巾木 H=100	廊下間仕切り：耐火間仕切り (W1) ビニルクロス	L.G.S. 化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	アルミ製	カーテン	△P	直付けカーテンレール、ライニング						
		(畳コーナー)		+300	2,200	木軸組、合板t=12 畳、一部化粧複合フローリング t=15	畳寄せ、雑巾摺	L.G.S. 石膏ボードt=12.5 ビニルクロス	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製	-	カーテン		直付けカーテンレール、木製框、						
		廊下	増築	±0	2,100 2,500	コンクリート直均し (a種) ビニル床シートt=2.0 (ワックスフリー)	ビニル巾木 H=100	廊下間仕切り：耐火間仕切り (W1) ビニルクロス	L.G.S. 化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製				消火器ボックス (床置)						
凡 例	S O P E P - E P - G E P - T U C O S C L	合成樹脂調合ペイント塗り 合成樹脂エマルションペイント塗り つや有合成樹脂エマルションペイント塗り及び 合成樹脂エマルション模様塗料塗り ウレタン樹脂ワニス塗り (2液形) オイルステイン塗り クリヤラッカー塗り				WP NP DP	木材保護塗料塗り 自然系塗料 (3回塗) つや有トップコート 耐候性塗料	○ △ ○△ △P □ ドアに室名 (カッティングシート)	内 装 制 限	石膏ボード (準不燃) t=9.5 QM-9828 石膏ボード (不燃) t=12.5 NM-9619 強化石膏ボード (不燃) t=12.5 15 21 NM-8615 化粧石膏ボード (準不燃) t=9.5 QM-9824 化粧石膏ボード (不燃) t=12.5 NM-0128 和天用化粧石膏ボード (不燃) t=12.5 NM-0127 不燃積層石膏ボード (GB-NC) (不燃) t=9.5 NM-8613	スレートボード (フレキシブル板) (不燃) t=5 NM-9027 普通硬質石膏ボード (不燃) t=9.5 NM-1908 抗菌メラミン不燃化粧板 (不燃) t=3 NM-9300 化粧石膏吸音ボード (準不燃) t=9.5 QM-9822 ジージン®石膏ボード (準不燃) t=9.5 12.5 NM-9826 不燃ジージン®石膏ボード (不燃) t=12.5 NM-9639 ロックウール化粧吸音板 (不燃) t=9 12 NM-8599	化粧ケイ酸カルシウム板 (不燃) t=6 NM-4227 強化石膏ボード (不燃) t=21 NM-1498 紙壁紙・織物壁紙・ビニル壁紙・化学繊維壁紙・無機質壁紙 個別認定品 掲示用クロス 難燃 個別認定品								
								製 図	管理技術者	審 査	承 認	株式会社 ワシツ設計			構造設計 一級建築士 第 号 号 構造設計一級建築士 第 号 号	CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称 総合支援学校職員室等増築 (建築主体) 工事
								監 査	監 査	監 査	監 査				設計設計 一級建築士 第 号 号 設備設計一級建築士 第 号 号	A-276	R5.03	FREE	1 5 A	図書名称 仕上表 (外部・内部)





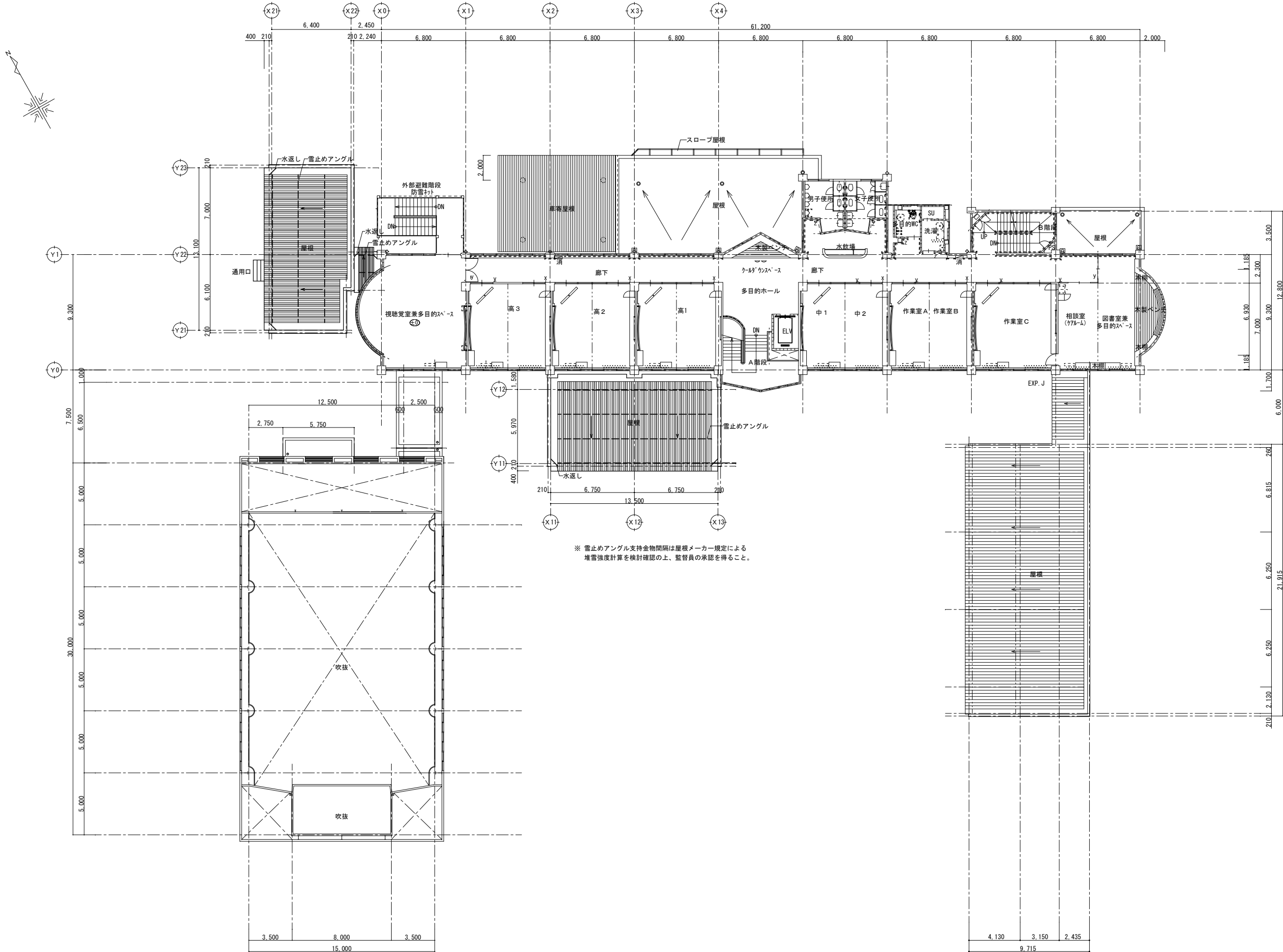


製 図				管理技術者				審 査				承 認				株式会社 ワシツ設計				構造設計 一級建築士 第 号 構造設計一級建築士 第 号	CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称 総合支援学校職員室等増築（建築主体）工事
熊倉				熊倉				熊倉				熊倉				一級建築士事務所 新潟県知事登録（ワ）第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 熊頭 加志郎				設備設計 一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号	A-276	R5.03	A1:1/150 A3:1/300	1 B A	図面名称 （増築前）全体屋根平面図



製図				管理技術者				審査				承認				株式会社 ワシツ設計				構造設計 一級建築士 第 号 構造設計一級建築士 第 号				CLASS DATE SCALE No.				工事名称 総合支援学校職員室等増築（建築主体）工事			
熊倉				熊倉				熊倉				熊倉				一級建築士事務所 新潟県知事登録（ワ）第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 熊倉 加恵郎				設備設計 一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号				A-276 R5.03 A1:1/150 A3:1/300 19 A				図面名称 （増築後）全体 1 階平面図			

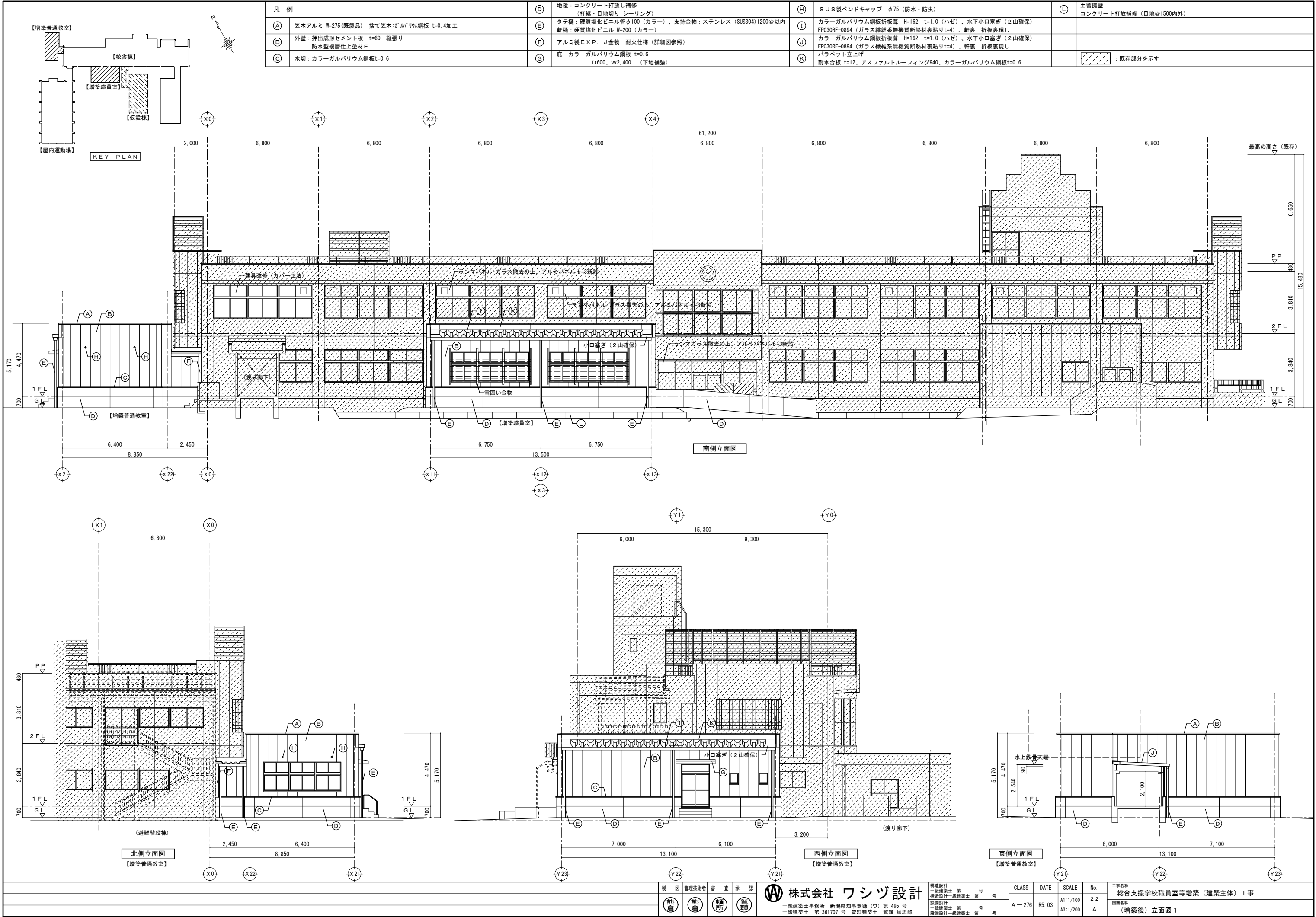




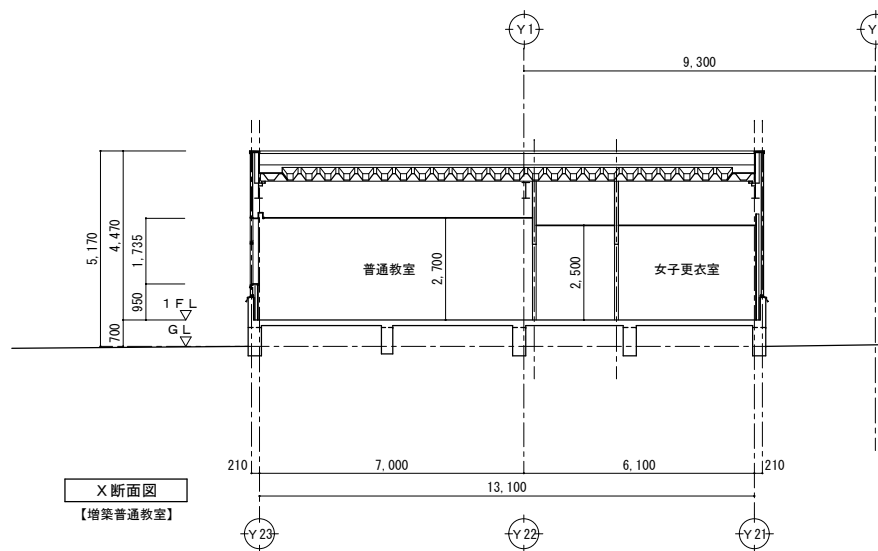
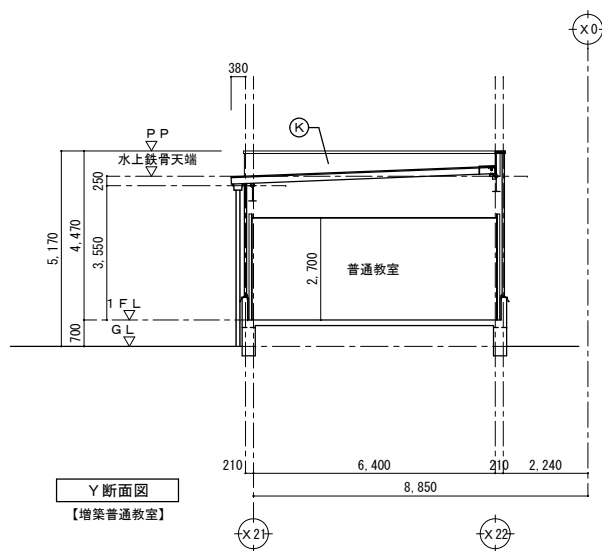
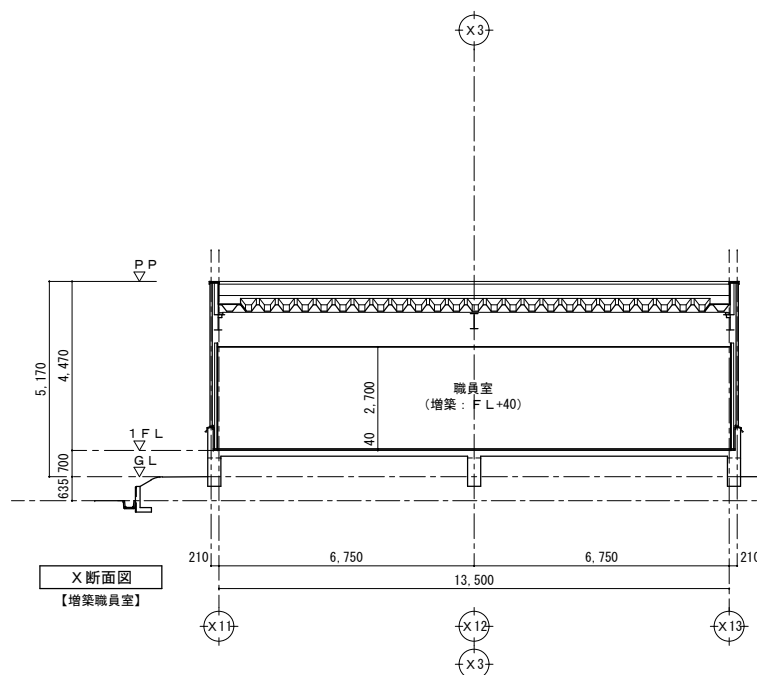
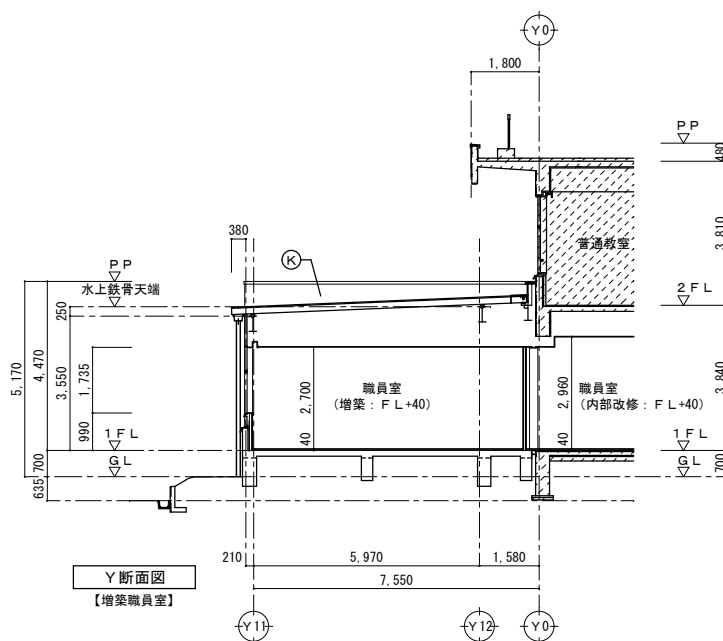
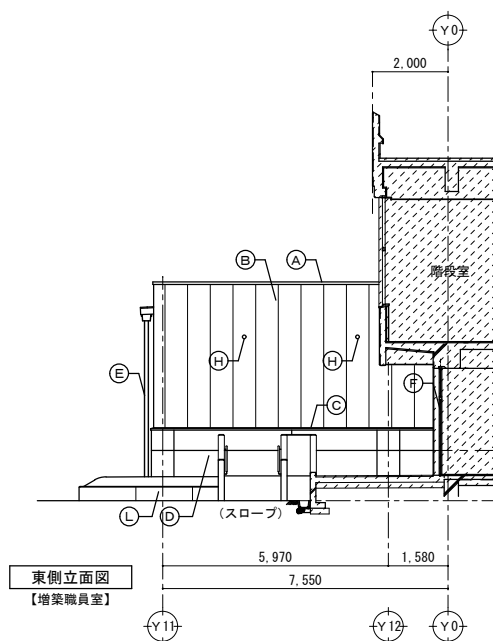
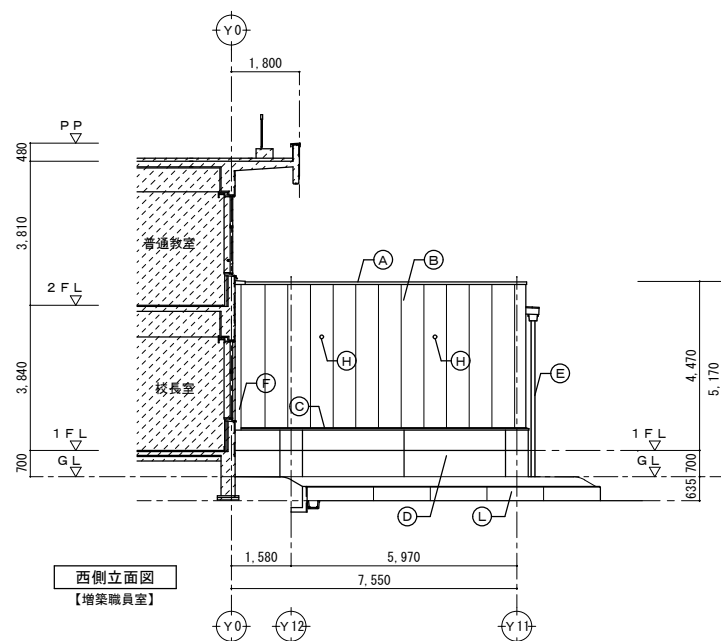
※ 雪止めアングル支持金物間隔は屋根メーカー規定による  
堆雪強度計算を検討確認の上、監督員の承認を得ること。

製 図				管理技術者				審 査				承 認				株式会社 ワシツ設計				構造設計 一級建築士 第 号 構造設計一級建築士 第 号				CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称 総合支援学校職員室等増築（建築主体）工事			
熊倉				熊倉				熊倉				熊倉				一級建築士事務所 新潟県知事登録（ツ）第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 熊倉 加恵郎				設備設計 一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号				A-276	R5.03	A1:1/150 A3:1/300	20 A	図面名称 （増築後）全体2階平面図			

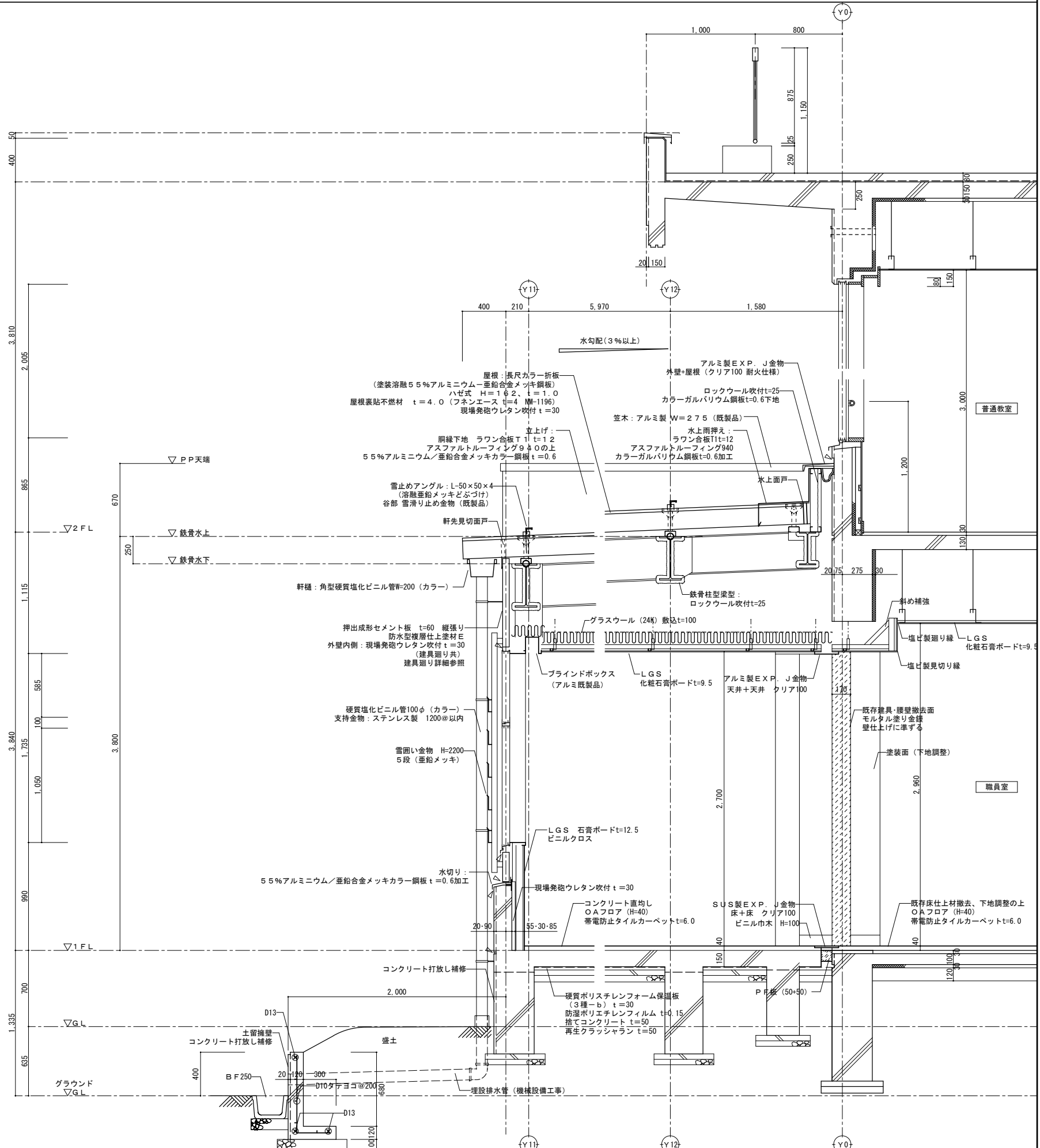
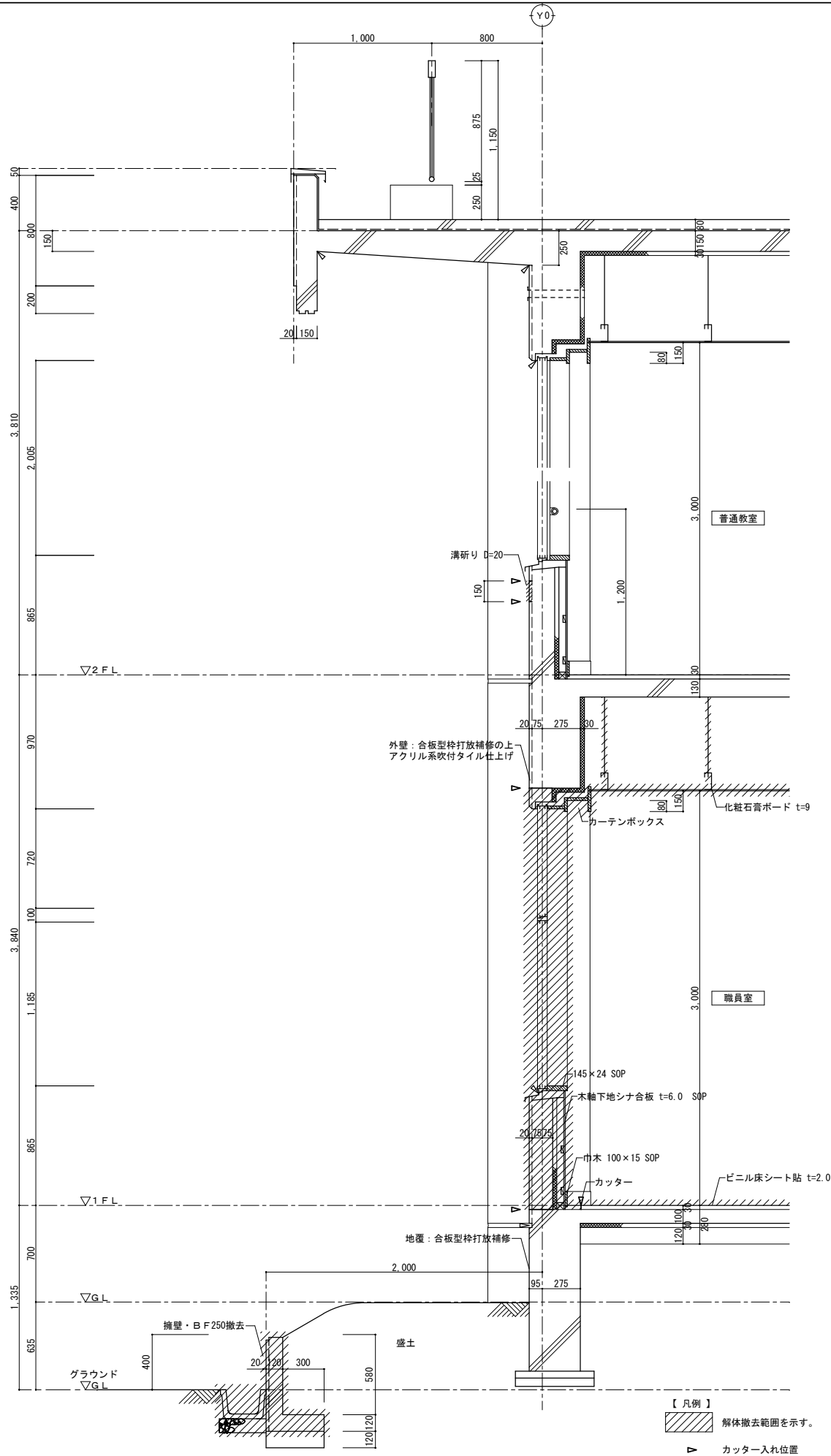




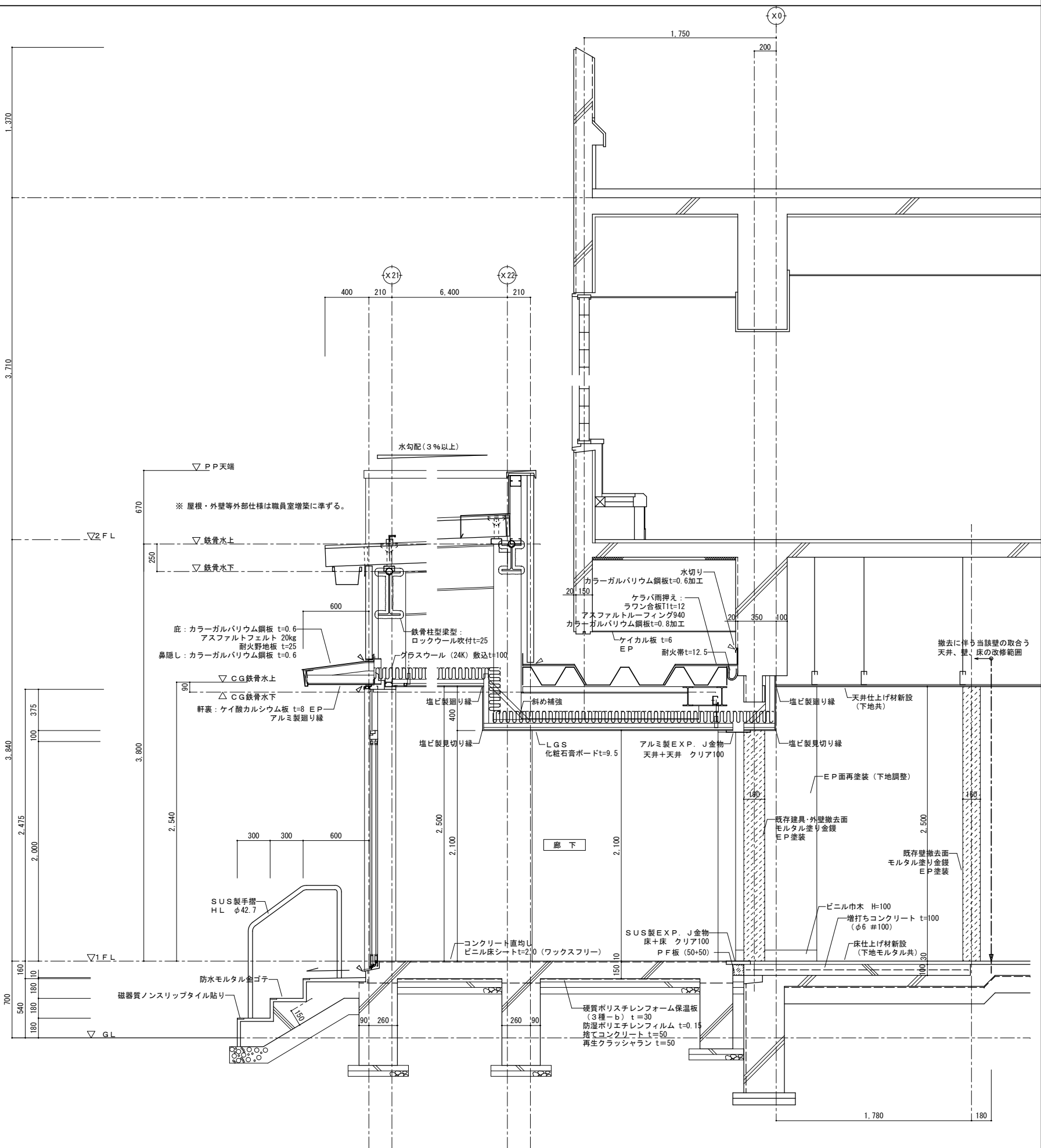
凡 例		(D)	地盤：コンクリート打直し補修 (打継・目地切り シーリング)	(H)	SUS製バンドキャップ φ75 (防水・防虫)	(L)	土留擁壁 コンクリート打直し補修 (目地@1500内外)
(A)	笠木アルミ W=275 (既製品) 捨て笠木: 笠木 90mm 鋼板 t=0.4 加工	(E)	軒樋: 硬質塩化ビニル管φ100 (カラー)・支持金物: ステンレス (SUS304) 1200@以内 軒樋: 硬質塩化ビニル W=200 (カラー)	(I)	カラーガルバリウム鋼板折板葺 H=162 t=1.0 (ハゼ)・水下小口塞ぎ (2山確保) FP030RF-0894 (ガラス繊維系無機質断熱材裏貼りt=4)・軒裏 折板裏返し		
(B)	外壁: 押出成形セメント板 t=60 縦張り 防水型複層仕上塗材 E	(F)	アルミ製 EX P. J 金物 耐火仕様 (詳細図参照)	(J)	カラーガルバリウム鋼板折板葺 H=162 t=1.0 (ハゼ)・水下小口塞ぎ (2山確保) FP030RF-0894 (ガラス繊維系無機質断熱材裏貼りt=4)・軒裏 折板裏返し		
(C)	水切: カラーガルバリウム鋼板 t=0.6	(G)	庇 カラーガルバリウム鋼板 t=0.6 D600、W2,400 (下地補強)	(K)	バラベツ立上げ 耐水合板 t=12、アスファルトルーフィング940、カラーガルバリウム鋼板 t=0.6		: 既存部分を示す



				製 図	管理技術者	審 査	承 認	<div>株式会社 ワシツ設計</div> <div>一級建築士事務所 新潟県知事登録(ワ) 第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 鷲頭 加恵郎</div>	構造設計 一級建築士 第 号 構造設計一級建築士 第 号	CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称
									A-276 R5.03	A1:1/100 A3:1/200	2 3 A	総合支援学校職員室等増築（建築主体）工事		
												図面名称 （増築後）立面図 2・断面図		



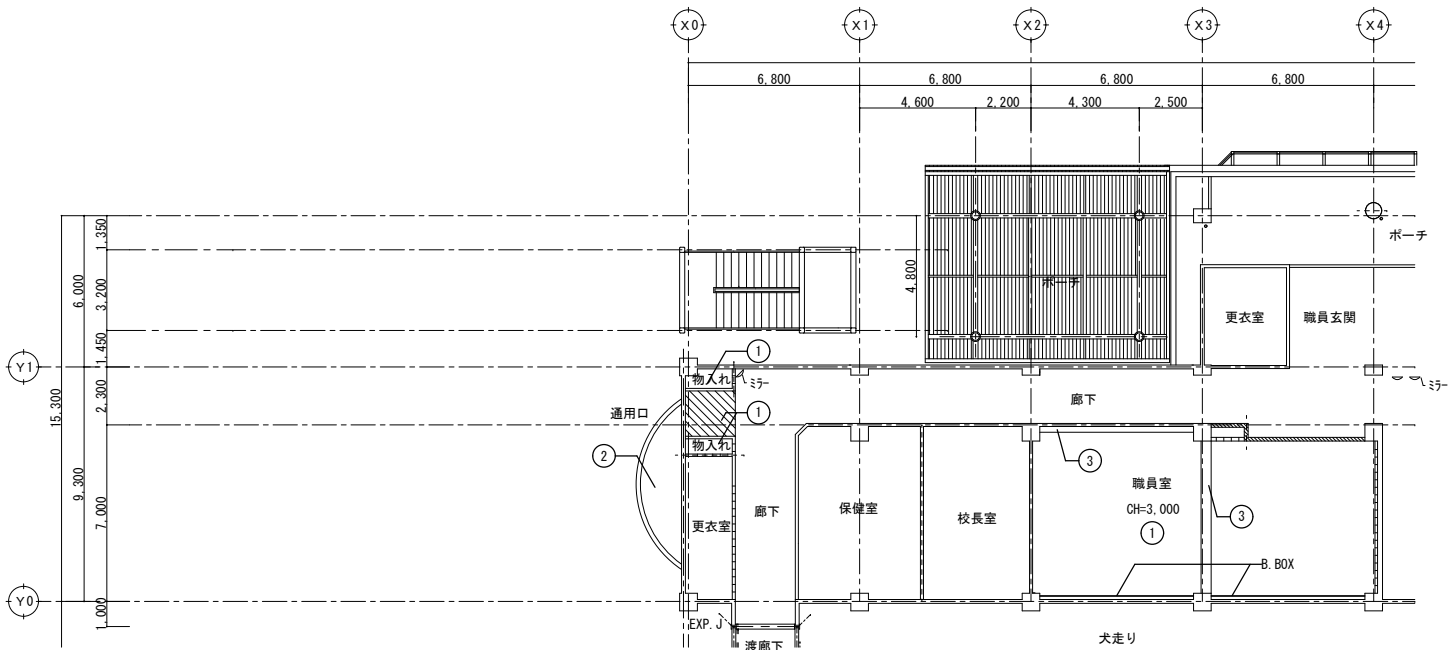
矩計図（増築普通教室）



				製 図	管理技術者	審 査	承 認	<div><div><div></div></div><div>株式会社 ワシツ設計</div><div>一級建築士事務所 新潟県知事登録(ワ)第495号 一級建築士 第361707号 管理建築士 荒頭 加恵郎</div></div>	構造設計 第 号 一級建築士 第 号 構造設計一級建築士 第 号	CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称
				<div><div>金子</div></div>	<div><div>熊倉</div></div>	<div><div>須所</div></div>	<div><div>荒頭</div></div>			A-276	R5.03	A1:1/20 A3:1/40	2.5 A	総合支援学校職員室等増築（建築主体）工事 図面名称 矩計図2（普通教室 増築前後）

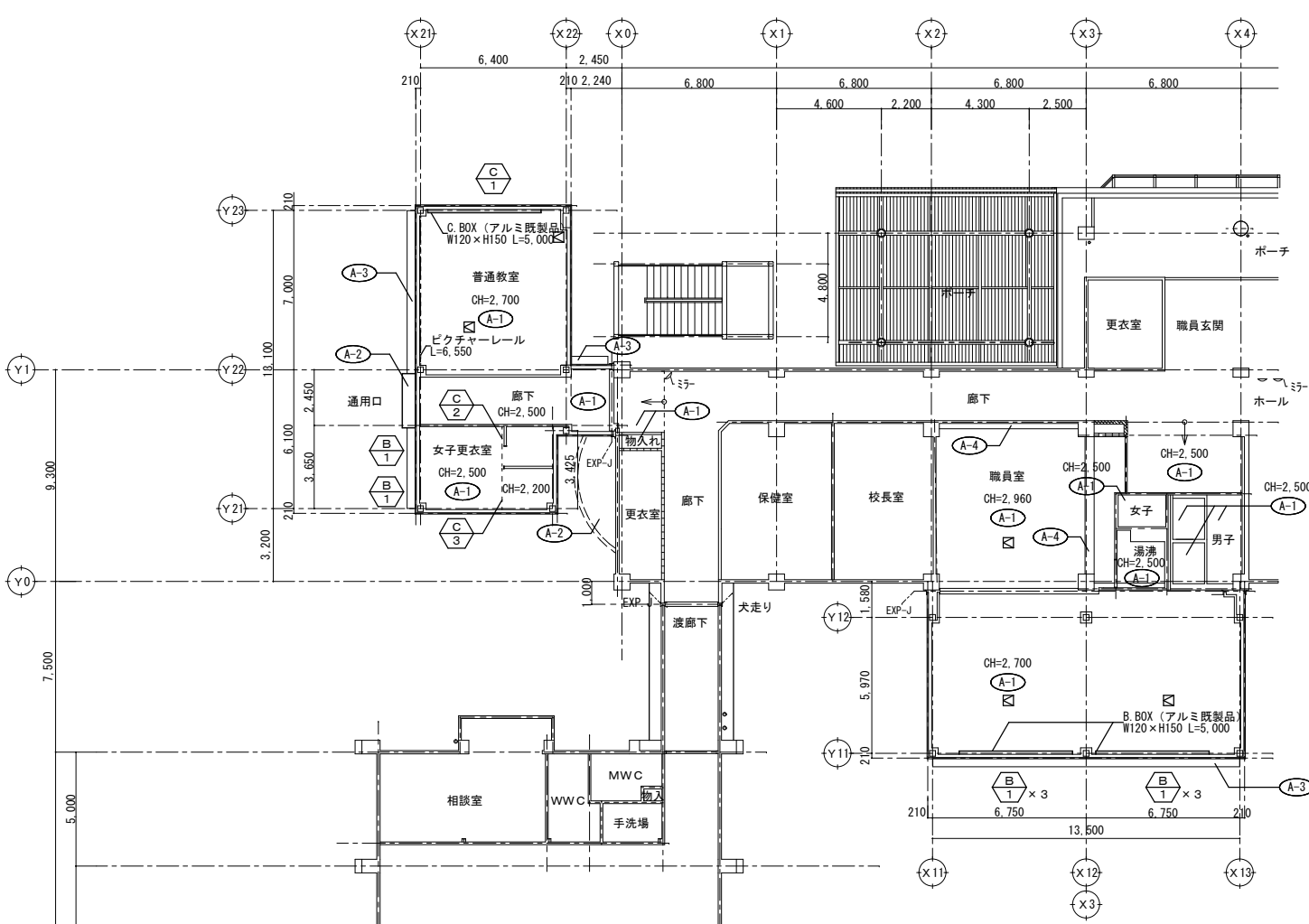


天井伏図（増築前）



	仕 上
①	天井：LGS 化粧石膏ボードt=9.5（下地共撤去）
②	天井：ケイカル板t=8 EP（野縁まで撤去）
③	梁型：プaster塗 EP

天井伏図（増築後）

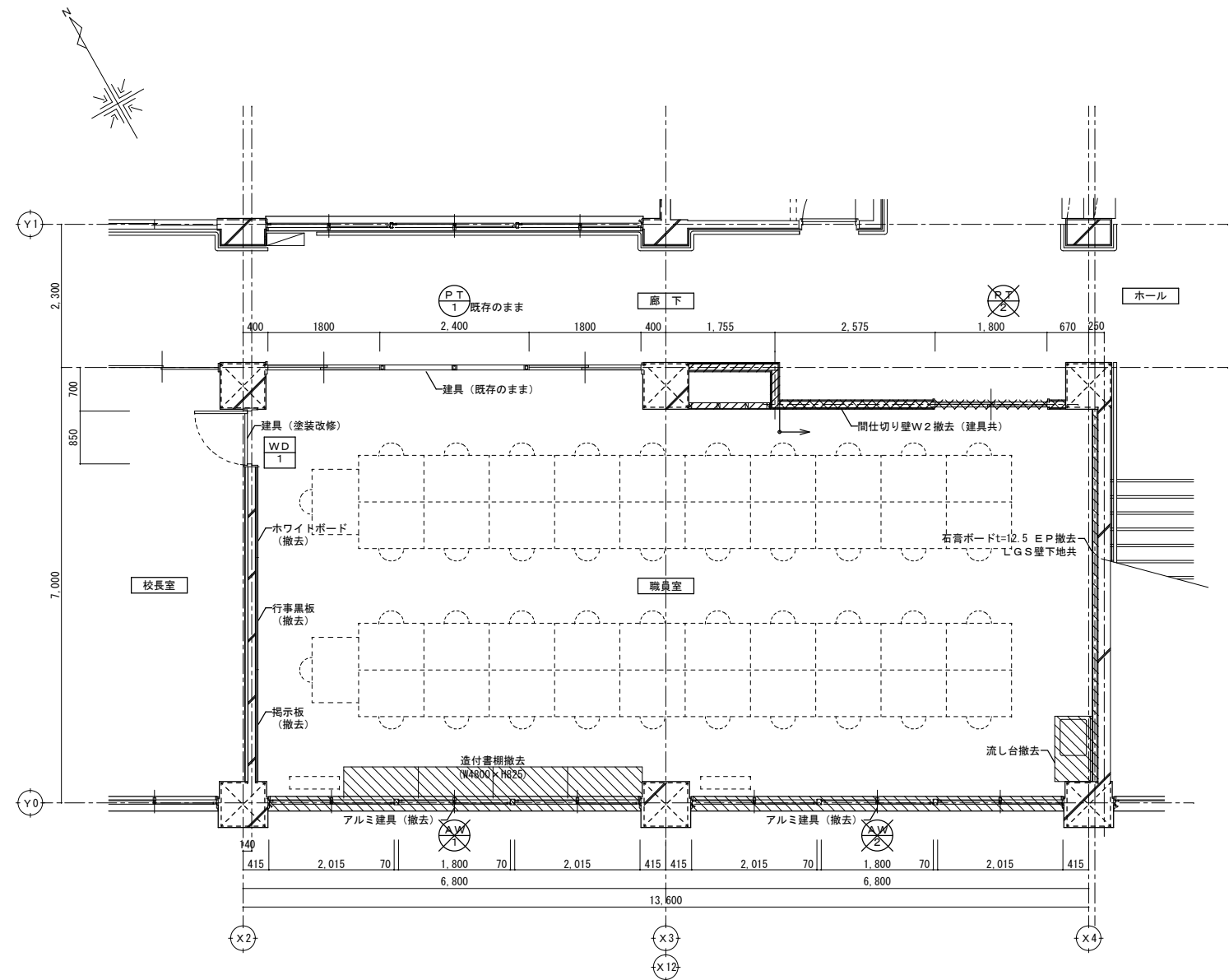


天井仕上凡例

カーテン・ブラインドリスト					仕様
記号	W × H	1階	合計		
	4800×1800	1	1	ブレースカーテン ポリエステル製 抗菌防臭 制電 防炎 直付レール	
	1750×2300	1	1		
	1800×2300	1	1		
	1890×1560	6	6	横型ブラインド 直付、附属金物一式	
	550×650	2	2		

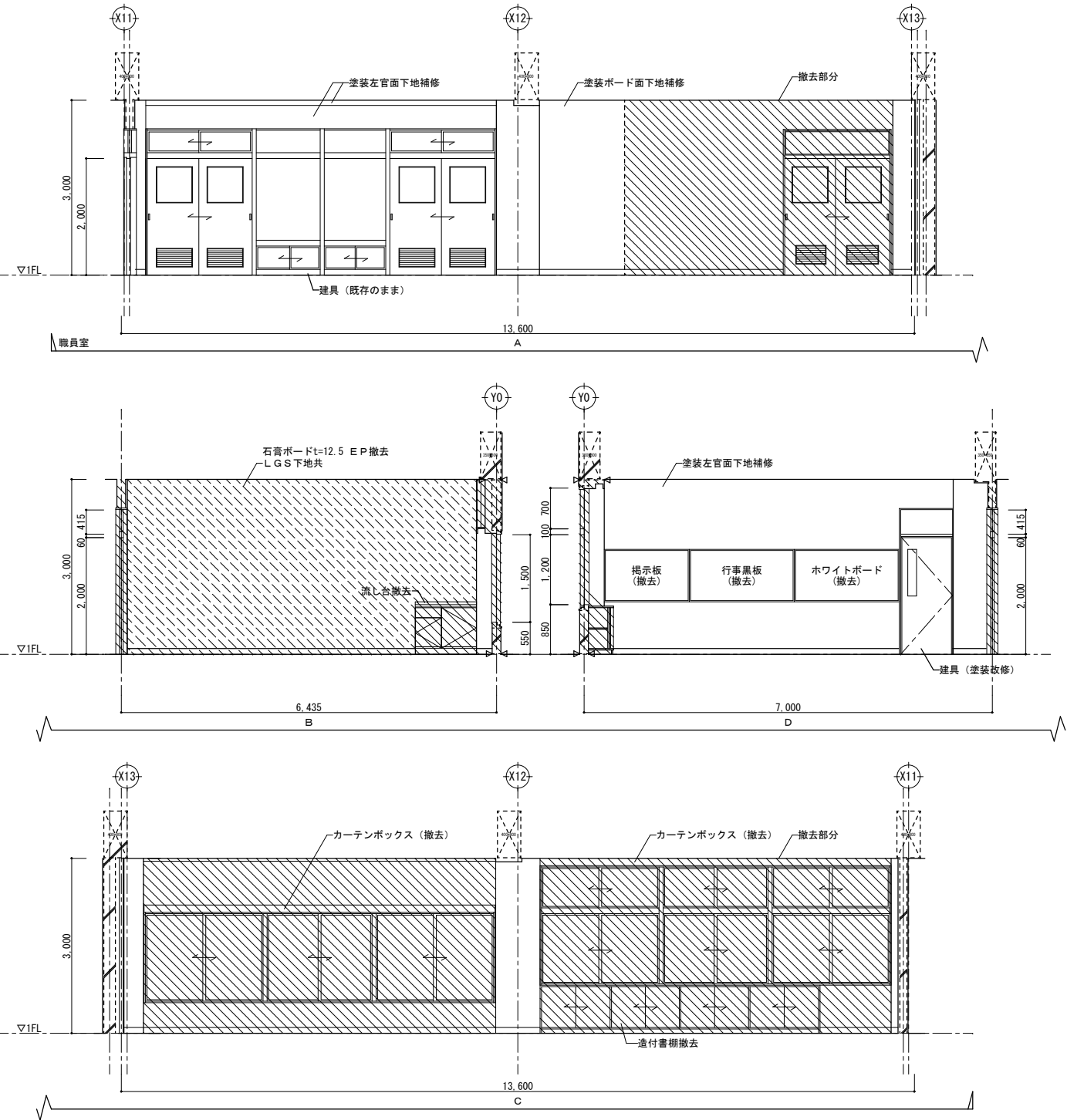
	仕 上
A-1	天井：LGS 化粧石膏ボード t=9.5、塩ビ製廻り縁
A-2	天井：（LGS野縁新設の上）ケイカル板t=8、アルミ製廻り縁 EP
A-3	天井：折板軒裏現わし
A-4	梁型：左官面下地処理の上、EP再塗装
☑	天井点検口 アルミ枠 450×450（新設） 5箇所
	同上開口補強 5箇所
	設備開口補強（220×1235） 36箇所
	設備開口補強（350×350） 1箇所
	設備開口補強（850×850） 5箇所

職員室平面詳細図（増築前）

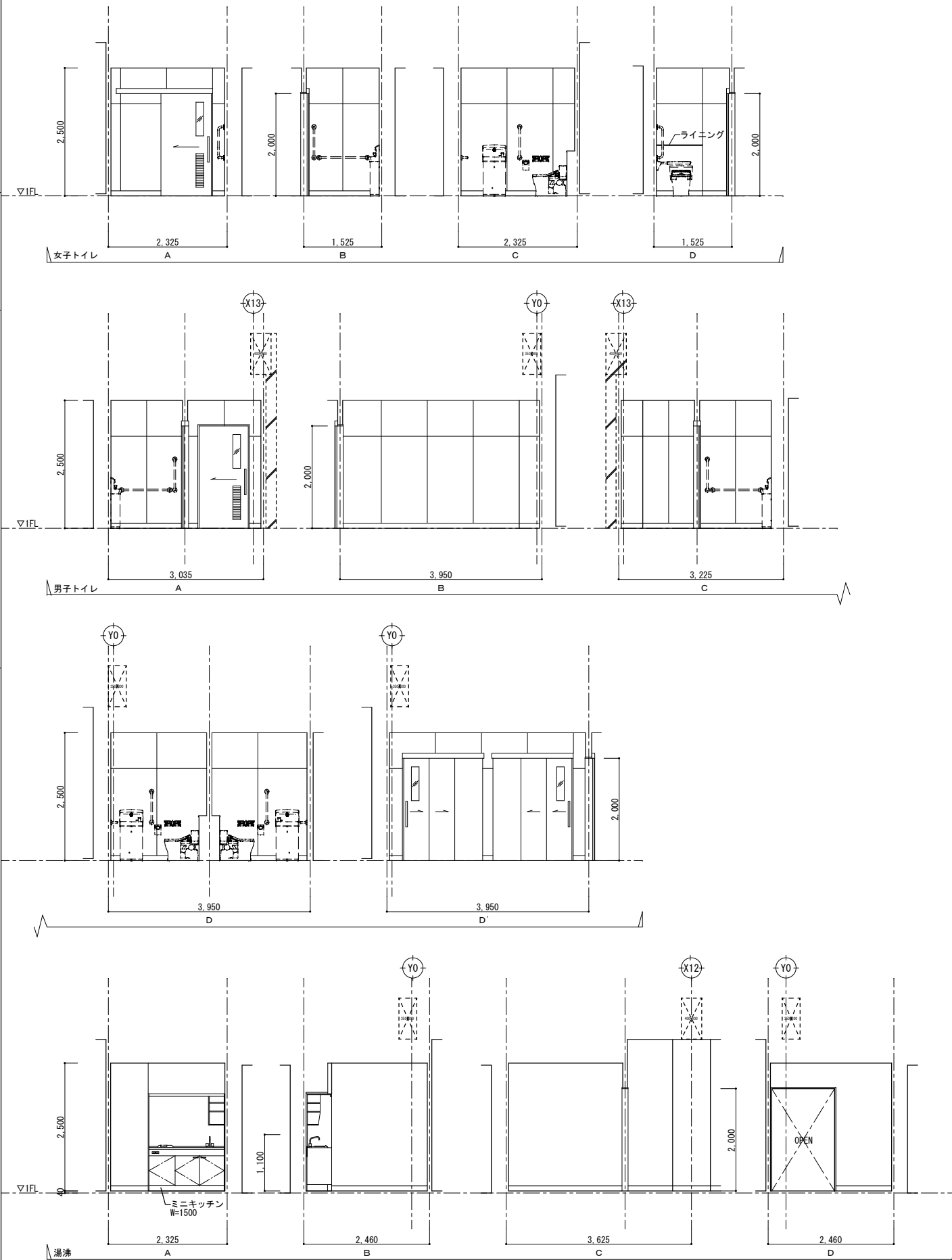
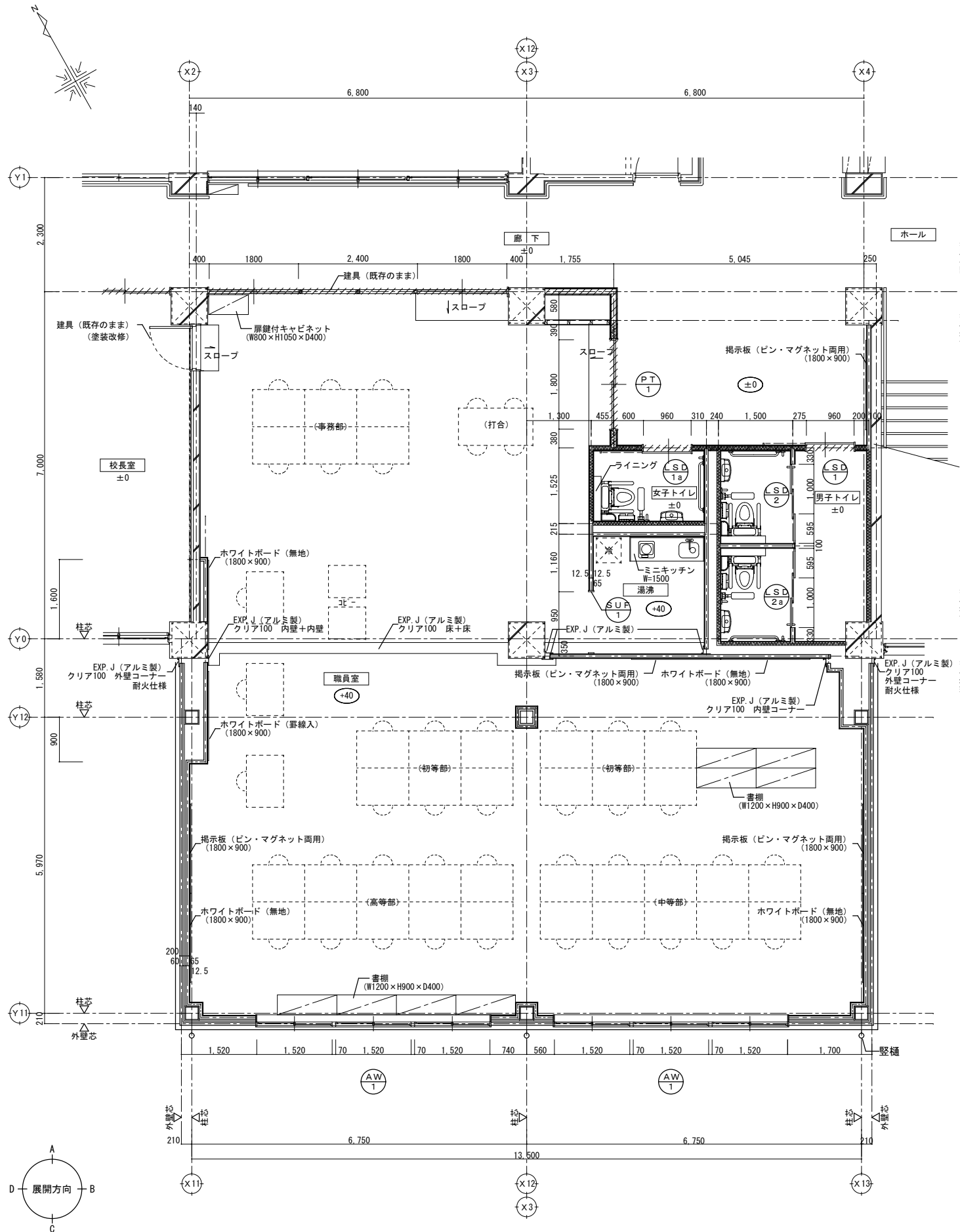


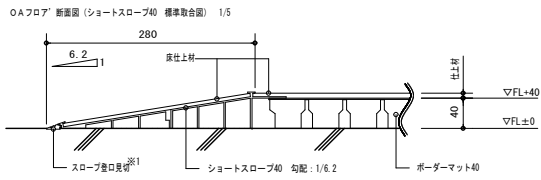
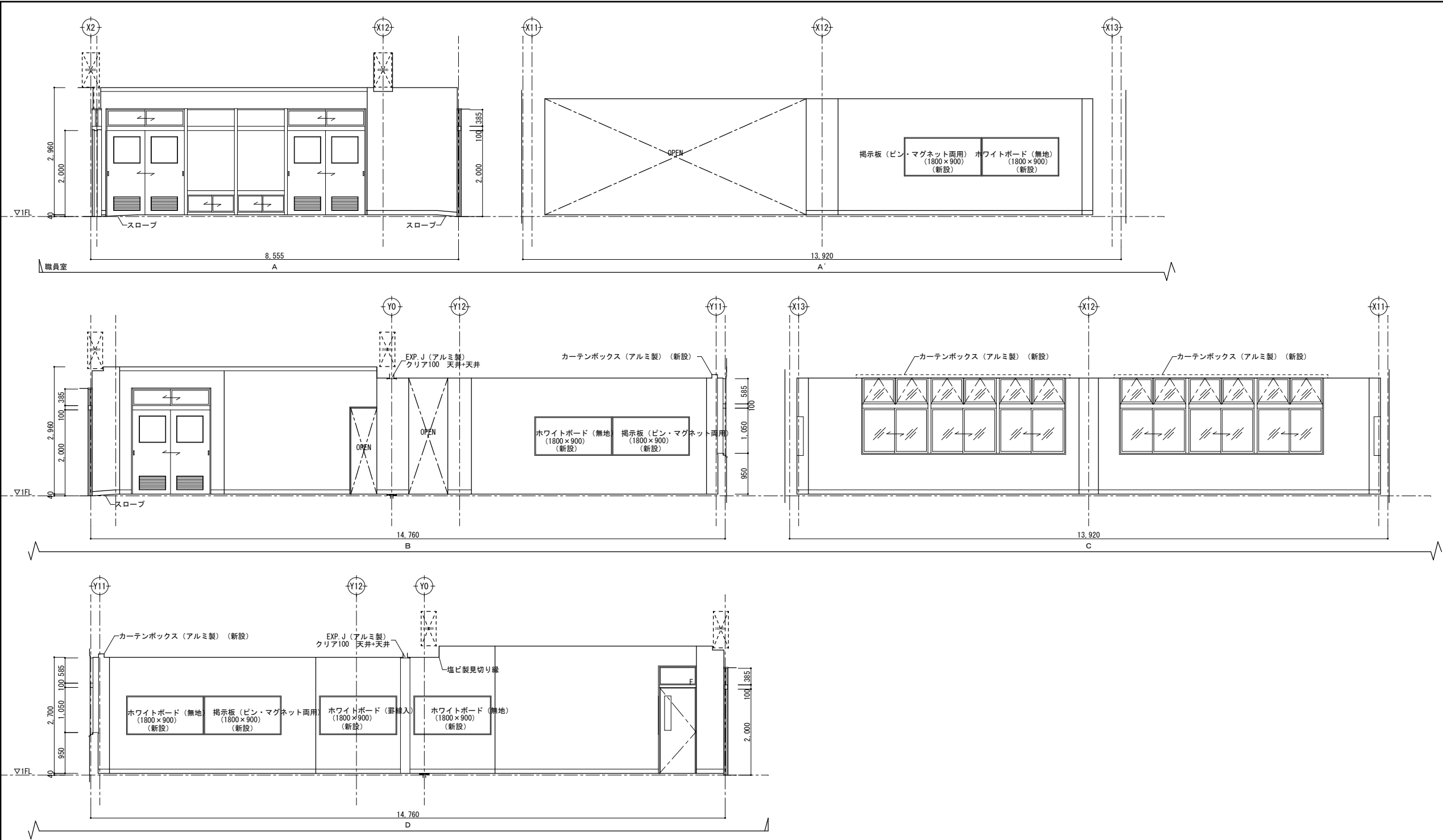
- 凡例
- 撤去部分を示す
  - 防火上主要な間仕切り壁W2を示す（LGS100+PB12.5+12.5両面2重張）
  - カッター入れ部分を示す

職員室展開図（増築前）



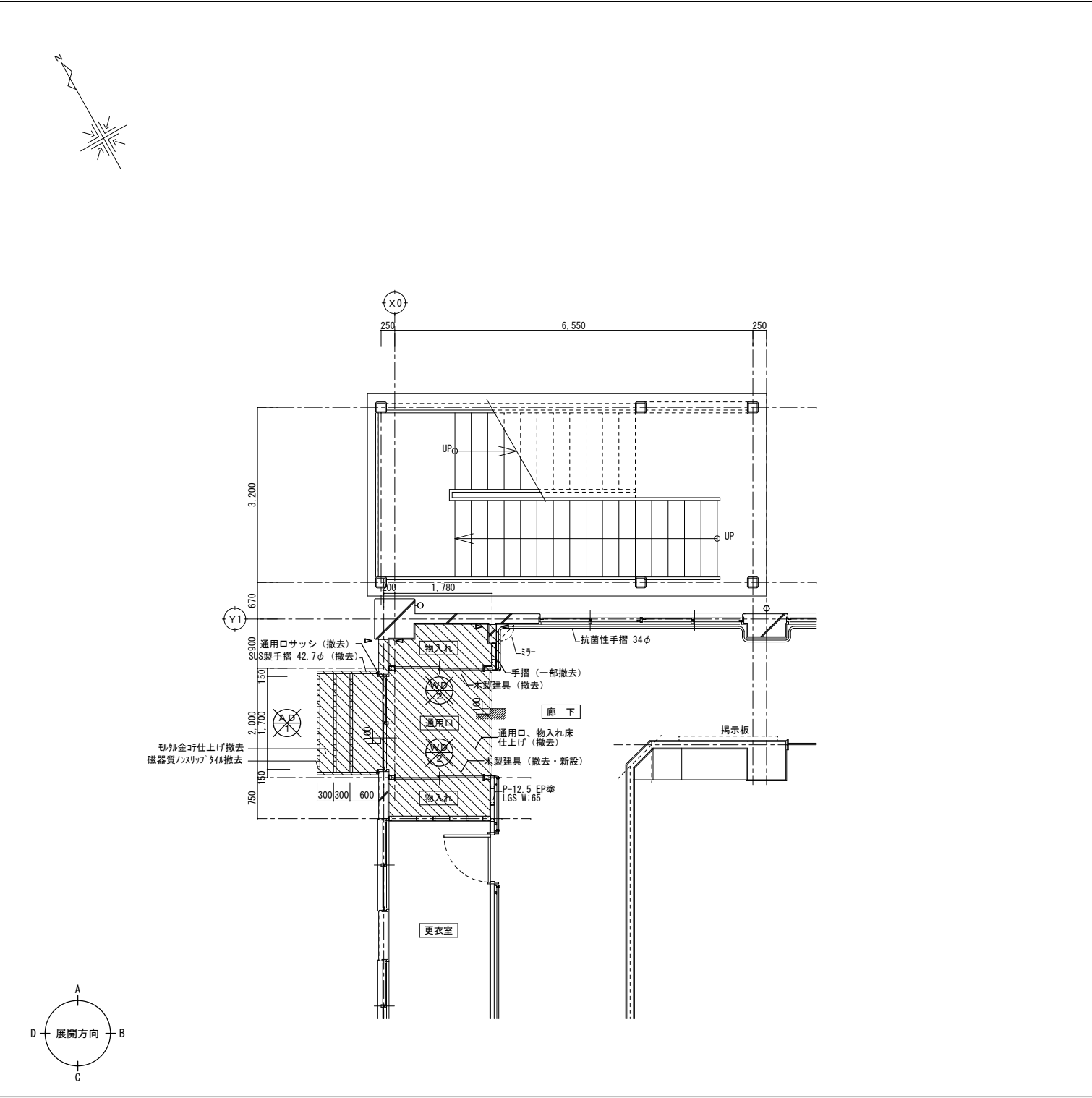
製図	管理技術者	審査	承認	株式会社 ワシツ設計	構造設計 一級建築士 第 号	CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称 総合支援学校職員室等増築（建築主体）工事
八木	熊倉	頼所	熊倉	一級建築士事務所 新潟県知事登録（ツ）第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 髙田 加恵郎	構造設計一級建築士 第 号 設備設計 一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号	A-276	R5.03	A1:1/50 A3:1/100	27 A	図面名称 （増築前）職員室平面詳細図・展開図 1



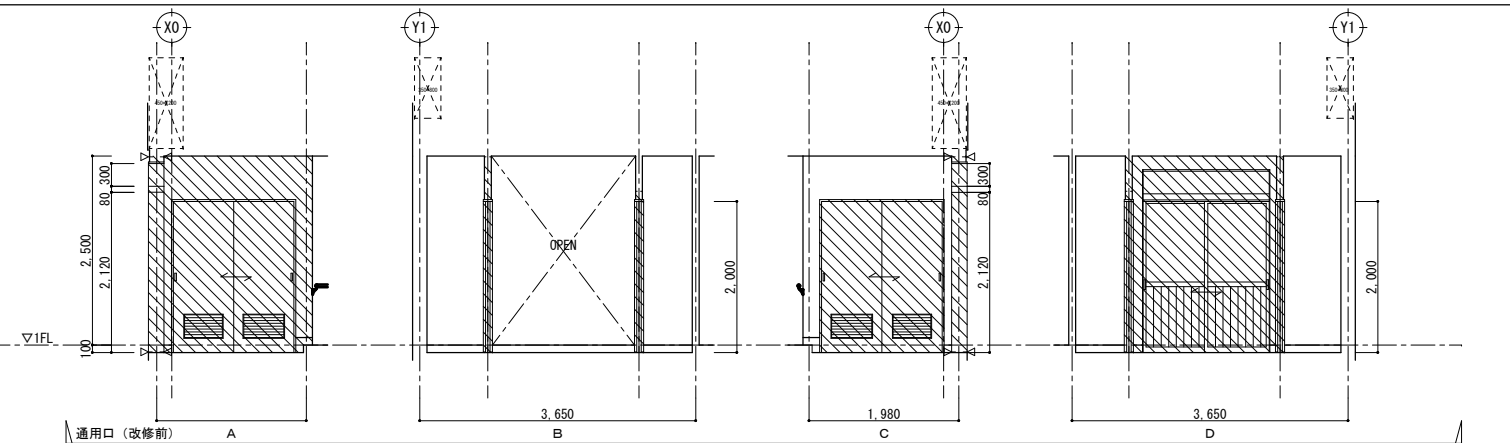


製 図 管理技術者 審 査 承 認				株式会社 ワシツ設計 一級建築士事務所 新潟県知事登録(ワ)第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 鷺頭 加恵郎	構造設計 一級建築士 第 号 構造設計一級建築士 第 号	CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称
⑧ 八木	⑨ 熊倉	⑩ 嶋所	⑪ 鷺頭		設備設計 一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号	A-276	R5.03	A1:1/50 A3:1/100	29 A	総合支援学校職員室等増築（建築主体）工事  （増築後）職員室展開図 2

増築前平面詳細図

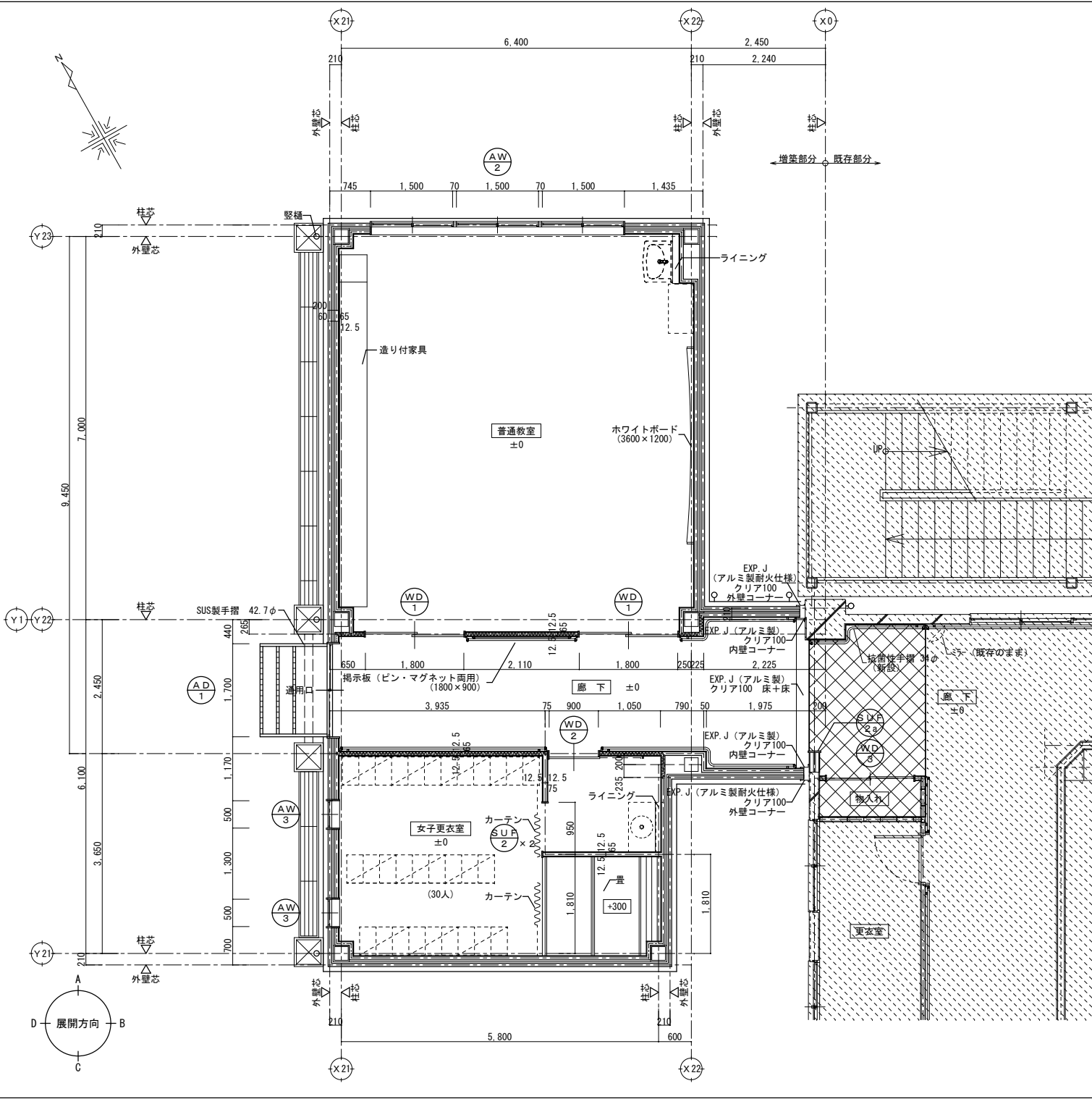


増築前展開図

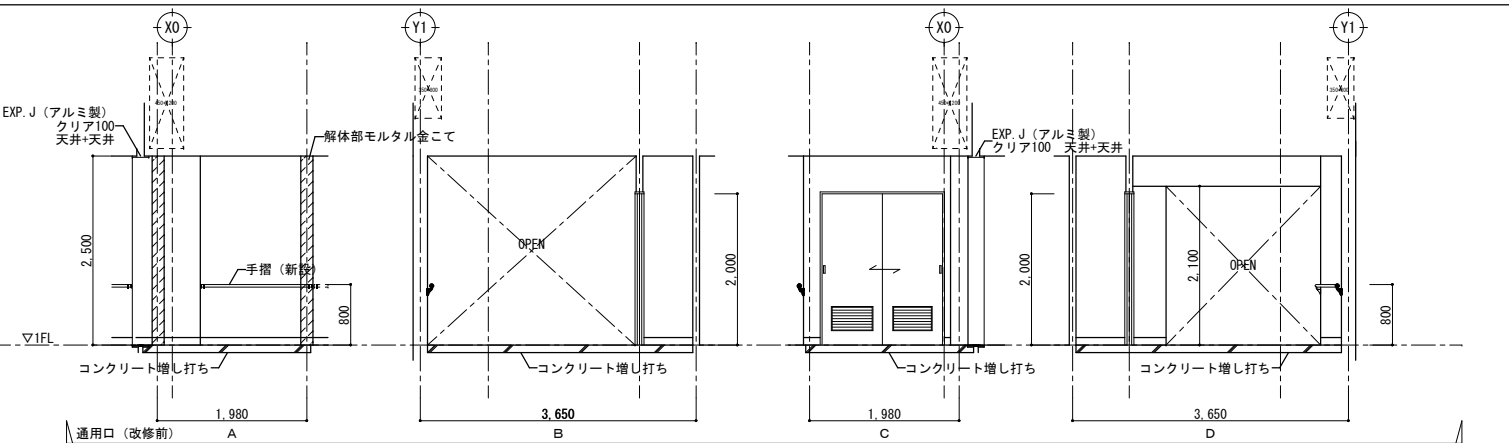


凡例		
	撤去部分を示す	◁ カッター入れ部分を示す
	既存のままの部分を示す	
	FL±0 (下地補修、コンクリート増し打ち)	

増築後平面詳細図



増築後展開図



製図	管理技術者	審査	承認	株式会社 ワシツ設計		構造設計 一級建築士 第 号	CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称
						構造設計 一級建築士 第 号	A-276	R5.03	A1:1/50 A3:1/100	30 A	総合支援学校職員室等増築 (建築主体) 工事
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ワ) 第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 齋藤 加恵郎						設備設計 一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号	図面名称 (増築前・後) 普通教室平面詳細図・展開図 1				



共 通 事 項


※ 特記なき限り、下記事項による

1. (○-○○-○○)、(○-○)は建築工事標準詳細図（平成31年版）の詳細番号を示す。
2. 標準型建物の適用は、欄に「○」があるものは標準型建物とする。
3. 備考欄に「A-○、W-○、S-○」は、それぞれ気密性、水密性、耐風圧性を示し、それ以外は特記仕様書による。

【 平面図表示建具符号 】

○ 建具略号

● 整理番号






表	示	略号		略号		略号	
S D	鋼製戸	W D	木製の戸	F L	フロート板ガラス		
S F	鋼製三方枠	T B	トイレブース	F	型板ガラス		
L D	鋼製軽量戸	H	ふすま	F W	網入型板ガラス		
S S D	ステンレス製の戸	P	紙障子	P W	練入り型板ガラス		
S S W	ステンレス製の窓	P D	樹脂製の戸	P W	網入磨き板ガラス		
S S F	ステンレスの三方枠	P W	樹脂製の窓	W P	練入磨き板ガラス		
A D	アルミ製の戸	P T	可動間仕切り壁	H A P	熱線吸収コート板ガラス		
A W	アルミ製の窓	S G	ガラス防煙たれ壁	H A W P	熱線吸収網入磨き板ガラス		
A G	アルミ製のガラリ	S W D	鋼製窓用ダンパー	T	強化ガラス		
A C W	アルミ製カーテンウォール			P G	複層ガラス		
O S	シャッター			H R	高性能熱線反射ガラス		
D D	自動扉			D S	倍強度ガラス		
O H D	オーバーヘッドドア			L	合わせガラス		
S D W	スライディングウォール			S T	学校用強化ガラス		
S H S	高速シートシャッター			S T (F)	学校用型板強化ガラス		
D S	ドッグシェルター						

防火戸の種別	記号	注記
	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">特</div> <div style="margin-bottom: 5px;">○</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">防</div> </div>	<p>令112条第1項による 特定防火設備 (随時閉鎖式、煙感知器連動)</p> <p>令112条第1項による 特定防火設備 (常時閉鎖式)</p> <p>法2条9号の2ロによる防火設備</p>
	特	<p>特定防火設備 (1時間)</p> <p>連煙防火設備の認定番号: 常時・随時閉鎖 S D 及び S S 【CAS-0257】、随時閉鎖 S D+連動 S S 【CAS-0434】</p>
	防	<p>防火設備 (20分) 耐火建築物等の外壁に設ける防火設備</p> <p>防火地域等の建築物の外壁に設ける防火設備</p>

厚見込み 寸法 (mm)	S D 40 (H=2,400未満、厚一枚の幅=1,050以下)	L D 36
	及び 50 (H=2,400以上、厚一枚の幅=1,600以下)	H 21 (戸ふすまは30mm)
	S D 50 (H=2,700以上、厚一枚の幅=1,500以下)	P 24
	60 (H=3,200以上、厚一枚の幅=2,000以下)	W D 30 (H=1,000未満、厚一枚の幅=900以下) 36 (H=1,800未満、厚一枚の幅=900以下) 40 (H=2,400未満、厚一枚の幅=900以下)

形 状	<p>(1) AW (H=1,600以下) は中核なしとする。</p> <p>(2) SD のうち、点検扉は特記以外は片面ラッシュ戸とする。</p> <p>(3) 該体不自由者用便所片引戸の枠は、6-2 5による。</p> <p>(4) がらりは、内部はⅢ型とし、外部はⅠ型とする。(4-0 1 付2)</p> <p>(5) ダクト接続のがらりには四方枠 (4-52-7) (表面処理亜鉛めっき鋼板 t=2.3 (めっき付着量 12又は F12) 加工、見込み45mm、見付30mm、SOP仕上げ) を付ける。</p>
-----	---

仕 上 げ	<p>(1) S、SD、LD、SSおよびSGの仕上げは特記以外はSOP（F☆☆☆☆）とする。</p> <p>(2) LDの召合わせおよび縦小口包み板は（※ステンレス鋼板（鋼板））とする。</p> <p>(3) 簡易気密型扉のクロロプレスポンジゴム取付部はステンレス鋼板1.5mmとする。</p> <p>(4) ドアがらりは、SDおよびLDは鋼板製SOPとする。</p> <p style="padding-left: 20px;">H（ふすま）は木製装束なしとする。</p> <p>(5) WDの扉の仕上げはポリ合板、枠はSOP（F☆☆☆☆）とする。</p>
-------	---

建 具 金 物	<p>(1) ドアクローザおよびフロアヒンジは建具配置図（平面図）による。なお、ドアクローザの取付けは室内側を原則とする。</p> <p>(2) 壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm程度とし、ドアクローザの有無にかかわらず戸当たりを設ける。</p> <p>(3) 排煙窓のクレセントおよび操作レバーの位置は床面から1,500mm以下とする。</p> <p>(4) 扉の握り玉、把手類は床面から1,000mmとし、押板類は1,100mmとする。</p> <p>(5) 標準型建具の建具用金物は、標尺1 6、4、6（イ）及び1 6、5、6（イ）による下表による。</p>
---------	---

	項 目	工 事 範 囲	別 途 工 事
設備工事 との区分	防 火 戸	本体（自動閉鎖装置の切り込み・補強とも）	自動閉鎖装置・連動制御装置・感知器
	上部電動式シャッター	本体・制御盤・自動閉鎖装置・ヒューズ装置	連動制御装置・感知器
	排 煙 窓	本体・自動閉鎖装置	連動制御装置・感知器
	防 煙 垂 れ 壁	本体・駆動装置	連動制御装置・感知器
	自 動 扉	本体・駆動装置・制御装置・検出装置	手元電源スイッチ
	電 気 錠	本体	扉までの配管配線

[illegible]

ガラス (標仕16.14.2)	・合わせガラス		
	品 種	構成種類	性 能
	※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類
	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅱ－Ⅰ類 ・Ⅱ－Ⅱ類 ・Ⅲ類
	強化ガラス		
	材料板ガラスによる種類	種 類	性 能
	※フロートガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類 Ⅲ類
	・型板ガラス	※型板強化ガラス	






・熱線吸収板ガラス		
品 種	性 能	色 調
※熱線吸収フロート板ガラス	・ 1種    ・ 2種	・ブルー    ・グレー    ・ブロンズ
・熱線吸収 網入層き板ガラス		

	☼複層ガラス		
	品 種	断熱性	日射熱遮へい性
	☼断熱複層ガラス	・ 1 種	U 1
		・ 2 種	U 2
		☼3 種	☼U-3-1 ・ U-3-2
	・ 日射熱遮へい複層ガラス	・ 4 種	E 4
		・ 5 種	E 5




	・熱線反射板ガラス	
	品 種	色 調
	※熱線反射ガラス	・ブルー ・グレー
	・高性能熱線反射ガラス	・ブロンズ ・シルバー

品 種		日射熱遮へい性	耐久性	ガラスの種類	
※熱反射ガラス		・ 1 種	A 種		
・ 高性熱能反射ガラス		・ 2 種	A 種 ・ B 種		
		・ 3 種	B 種		
反射皮膜面 映像調整	※内面 ※行わない	・ 外面 ・ 行う			

・倍強度ガラス	
材料板ガラスによる種類の名称	色 調
※フロート倍強度ガラス	
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・

施錠の型式	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	※ 施錠の型式は施主承認をえること。
	外：シンダー  内：シンダー	外：シンダー  内：サムターン	外：シンダー  内：変錠 又は無し	外：変錠  内：サムターン	外：変錠  内：変錠	

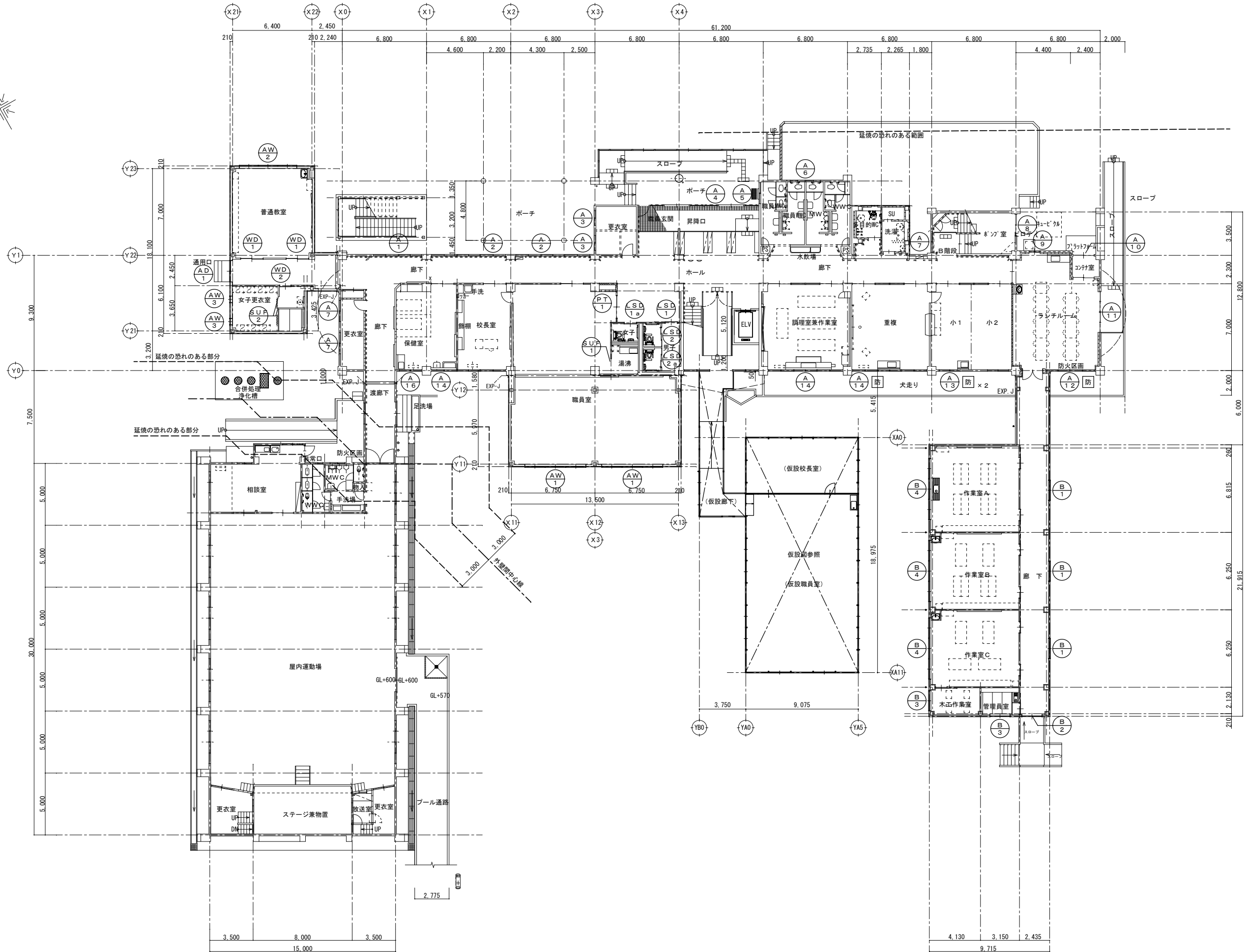
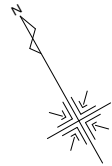
ガ ラ リ	標準型建具(SD・LD)で利用できる寸法の組合せ					
	寸法表 (W×H)					
	H寸法					
	W寸法					
	区 分		片開き		親子開き	
			両開き			
	2,000	900	950	1,200	1,250	1,800
2,100						

がらり高さ		寸法	
がらり 約 h		450	
		700	
がらり形状			
I型	II型	III型	⑦ 1.2 (興板)
			
扉 開口率約30%	開口率約35%	開口率約25%	
窓 開口率約30%	開口率約50%	開口率約30%	

特記事項	1. 2階以上全ての窓（引違い窓等）に、転落防止スツッパを付ける。（開放制限110mm。または、監督員指示による）
	2. 避難経路（救助路）を設置する窓には、避難用電気錠を付ける。（開放制限110mm。または、監督員指示による）
	3. 全ての排煙窓の開閉角度は、45度以下。排煙窓の手動開放装置（バント）は、ツツバ開放 手動復帰とする。
	4. 延焼のおそれのある部分のガラリは、F Dを付ける。（F Dは設置工事）
	5. オペレータの取付位置は各バルクから800mm以下1500mm以下とし配管及びボックスは埋込型ワンタッチ方式とする。
	6. 防戸は煙感知器動作を示し、連結及び確認用リミットスイッチ迄は本工事とし、電源の送り込みは、電気工事とする。
	7. シャッターの開閉機構は、電動 方式とする。
	8. 自動ドアの開閉方式は（・タッチ）センサ・その他： 方式とし、安全装置付（2線式）とする。
	9. 防音壁の仕組は、内部ロックウール（15 kg/m <sup>3</sup> ）充填とし、三方栓 密閉型クロロポリエチレン（パッキ）を組み込む。
	10. 外部ガラリはステンレス製防虫網（2.3号網 12目）取付とし、設庫ダクト取合部は、フランジ付とする。
	11. 網戸はステンレス張とし、可動式とする。
	12. ハンガ引—引戸の引込重量は5 kg 以内とする。
	13. 各室の旋錠方法、取付高さは現場にて再協議のここ。
	14. 引戸の引抜き寸法は、メーカー確認のここ。
	15. ドアチェックはストップ付とし、NS表示はストップなし（ノンストップ）とする。

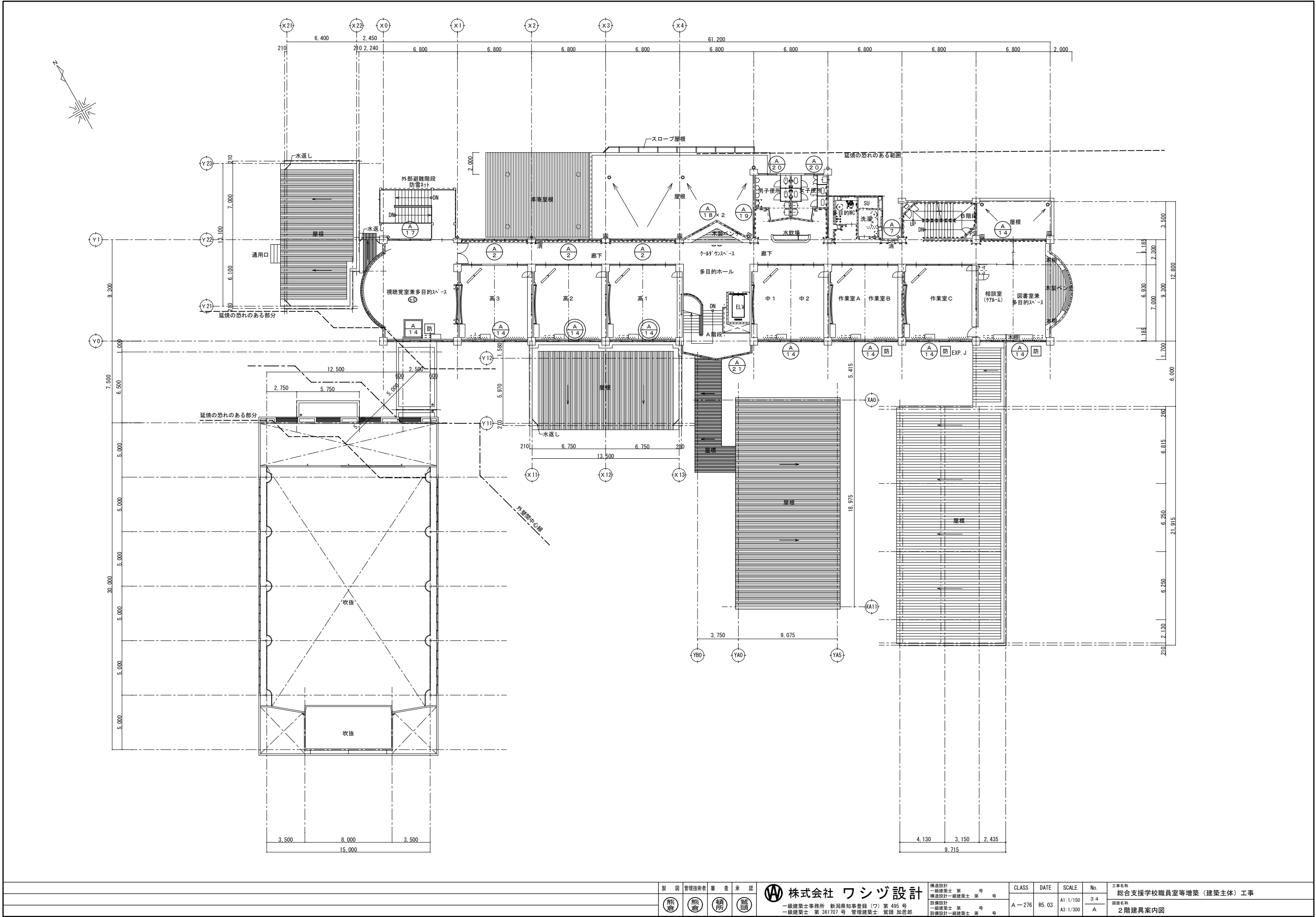
## 建具取合い

[illegible]



製 図										管理技術者										審 査										承 認										<div><div><div><div><div></div><div></div></div><div>株式会社</div><div>ワシツ設計</div></div><div><div>構造設計 一級建築士 第 号 構造設計一級建築士 第 号 設備設計 一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号</div><div>一級建築士事務所 新潟県知事登録（ワ）第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 賢頭 加恵郎</div></div></div></div>										CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
熊倉										熊倉										賢頭										賢頭																				A-276	R5.03	A1:1/150 A3:1/300	33 A	総合支援学校職員室等増築（建築主体）工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					



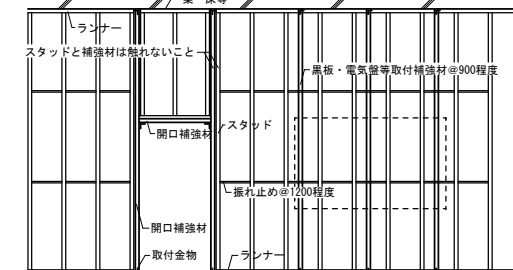
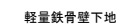
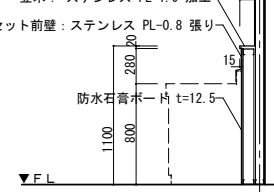
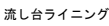
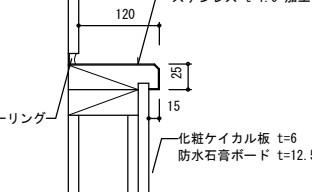
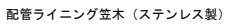
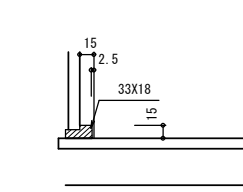
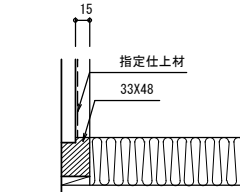
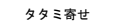
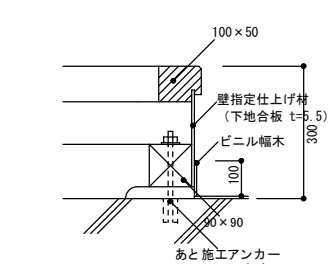
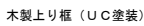
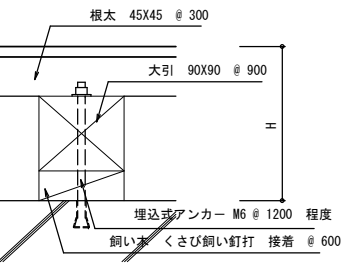
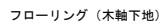
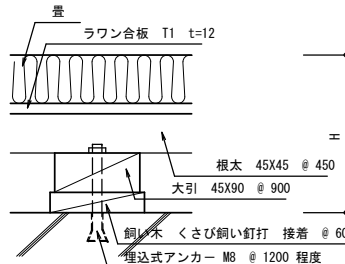
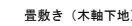
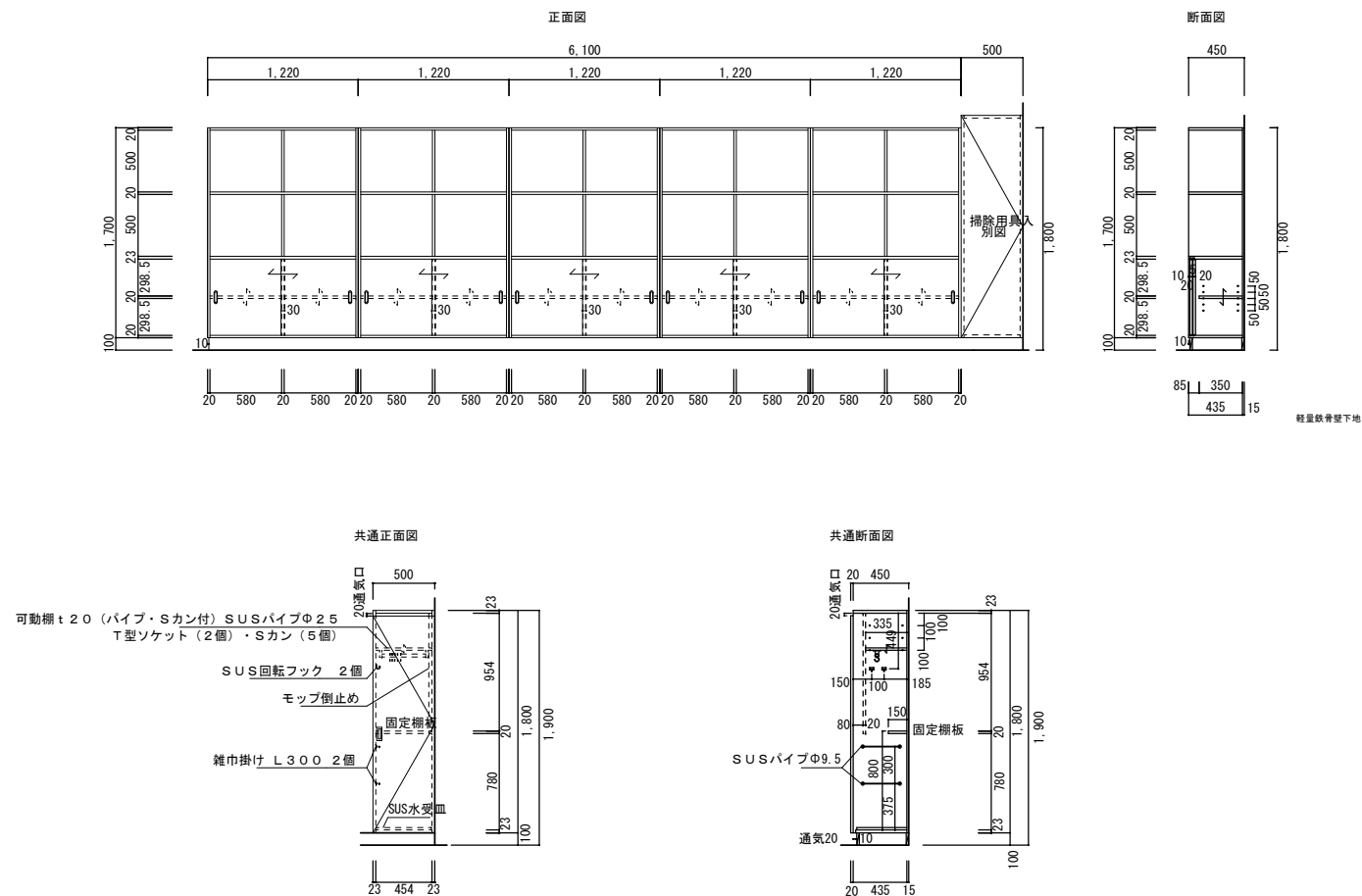


製図				管理技術者				審査承認				株式会社 ワシツ設計				構造設計 一級建築士 第 号	CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称 総合支援学校職員室等増築（建築主体）工事	
熊倉				熊倉				熊倉				一級建築士事務所 新潟県知事登録（ワ）第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 熊倉 加恵郎				設備設計 一級建築士 第 号	A-276	R5.03	A1:1/150 A3:1/300	34 A	図面名称 2階建具案内図	

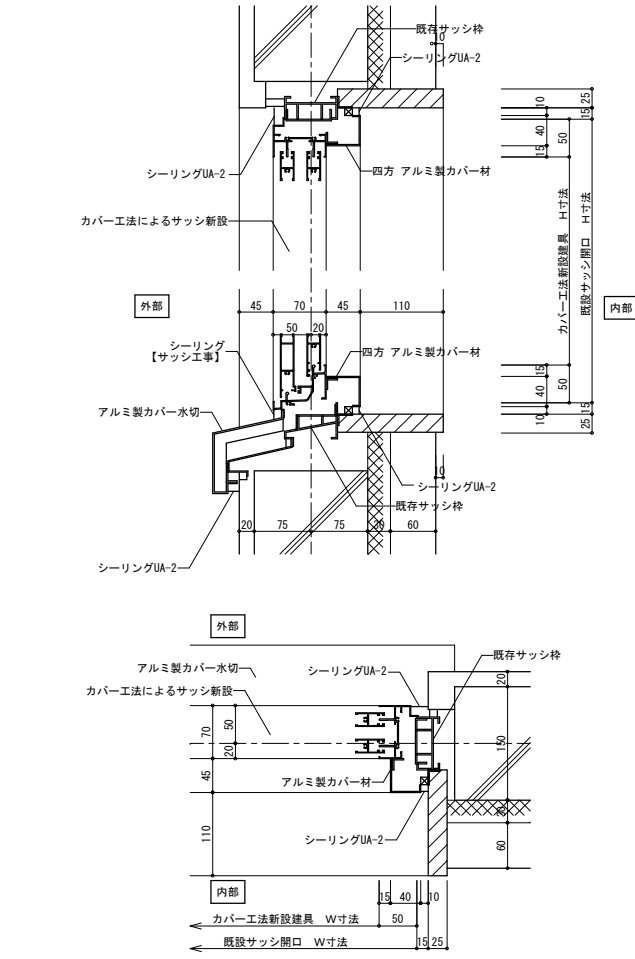
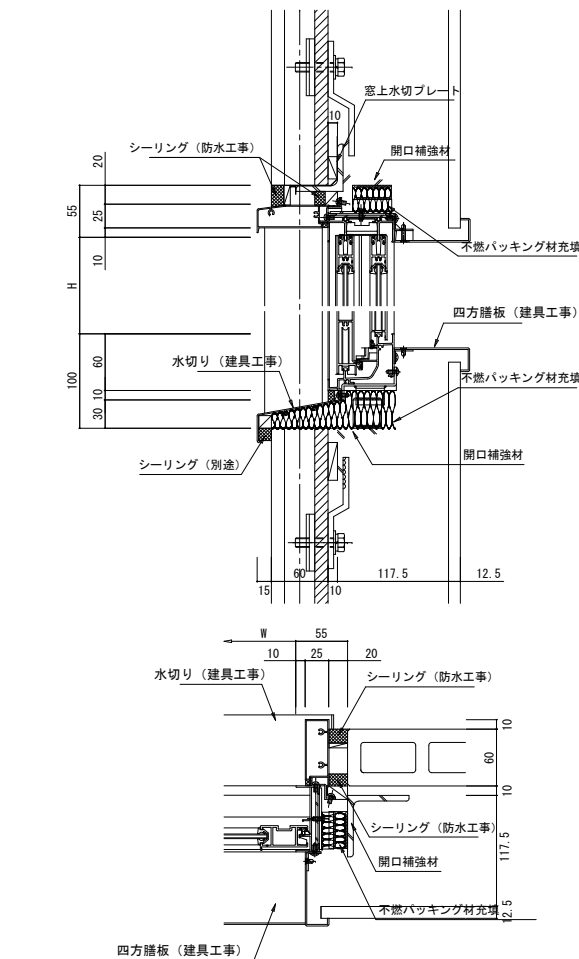
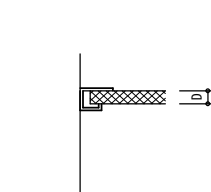
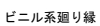
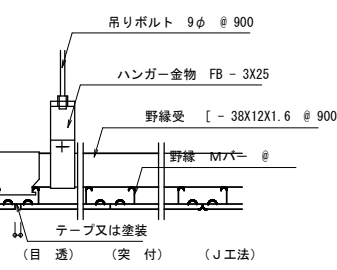
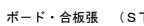




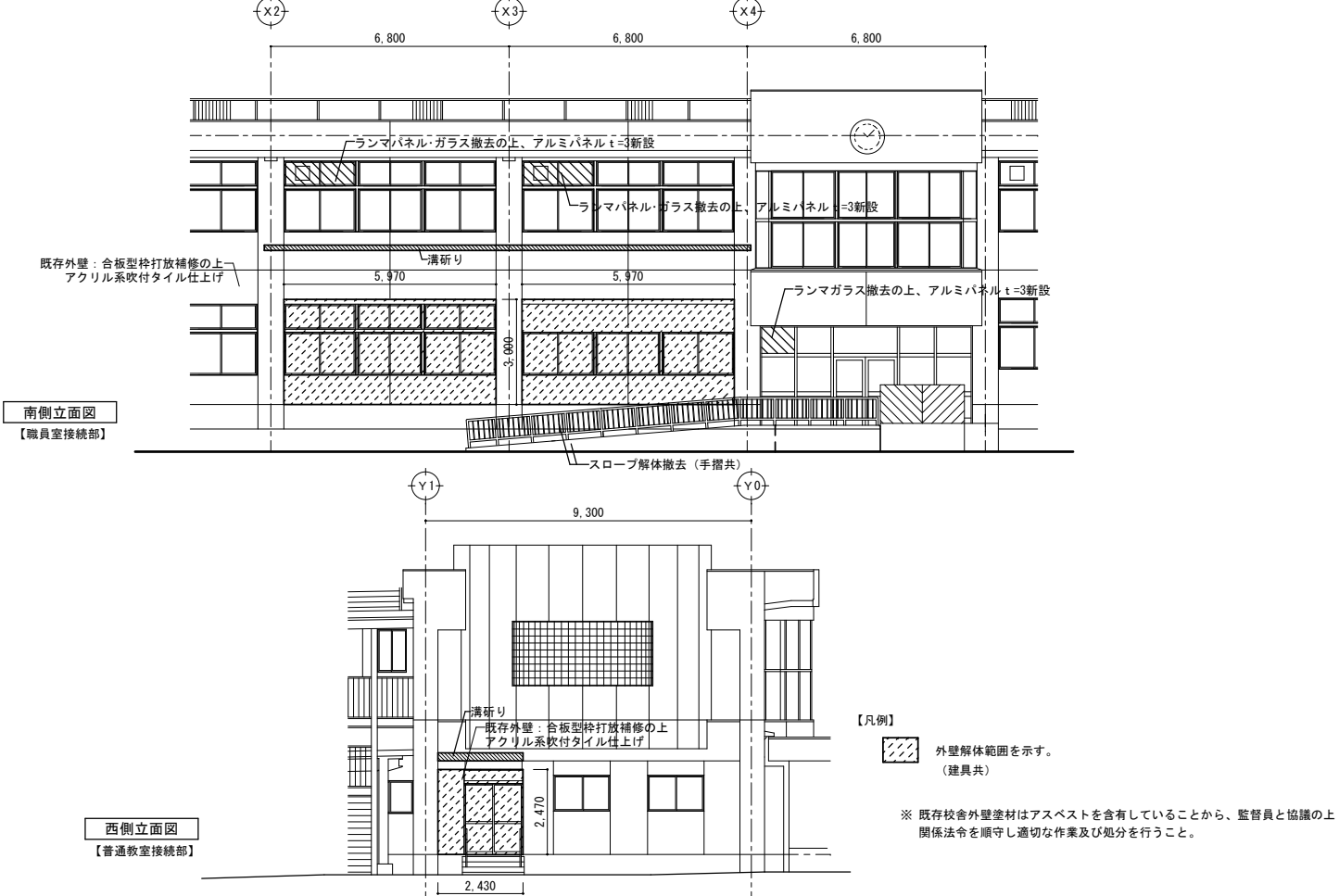
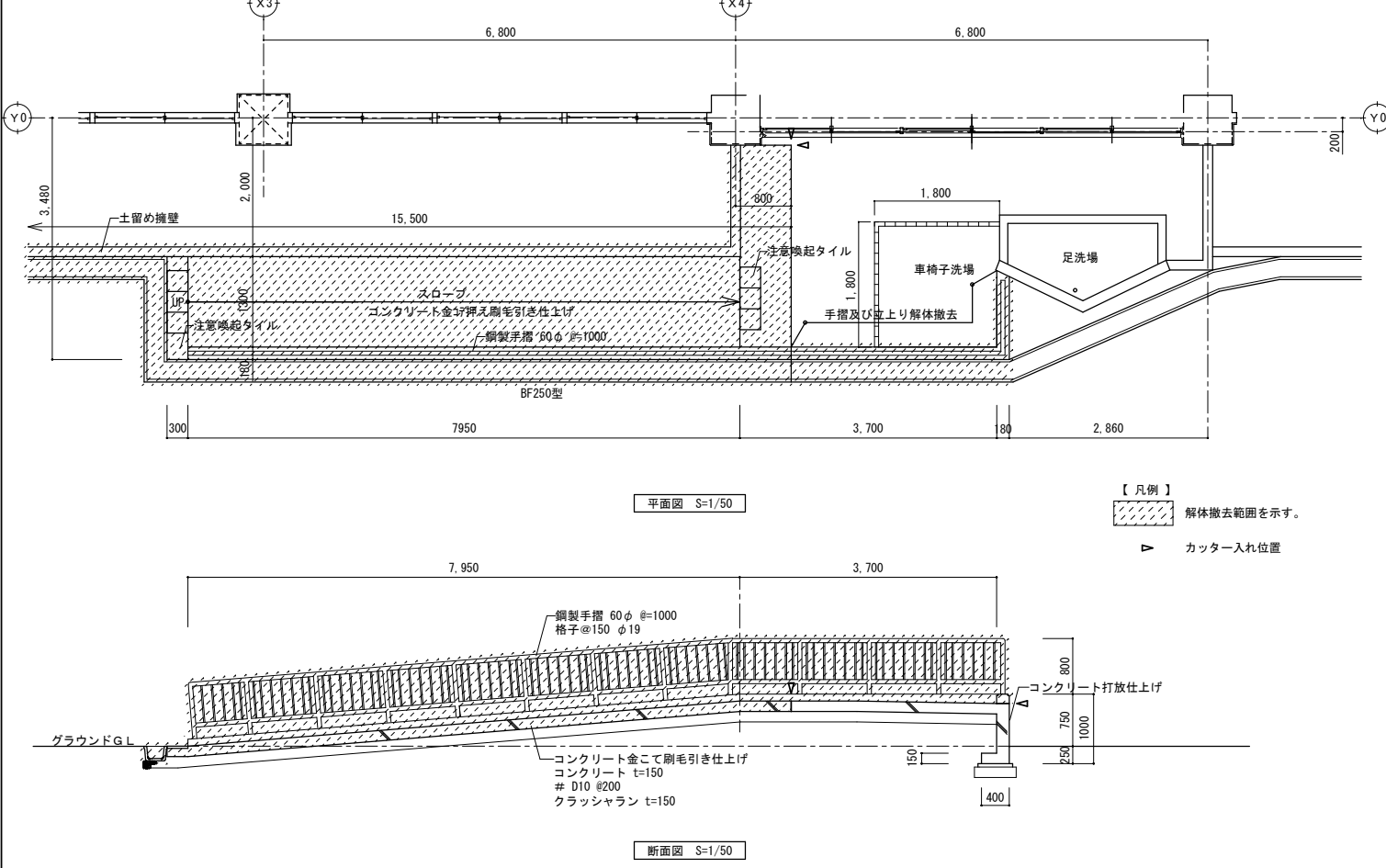
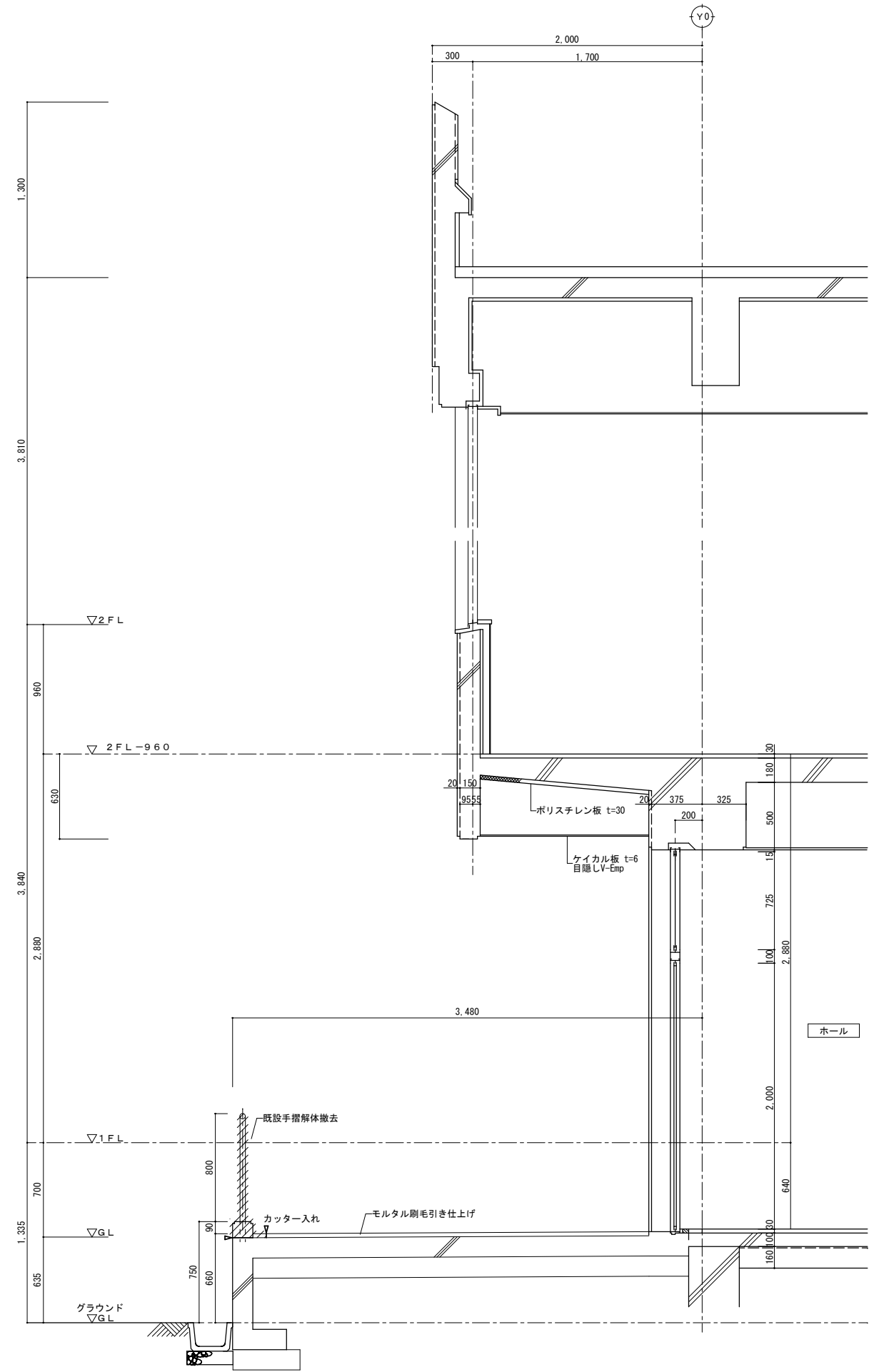


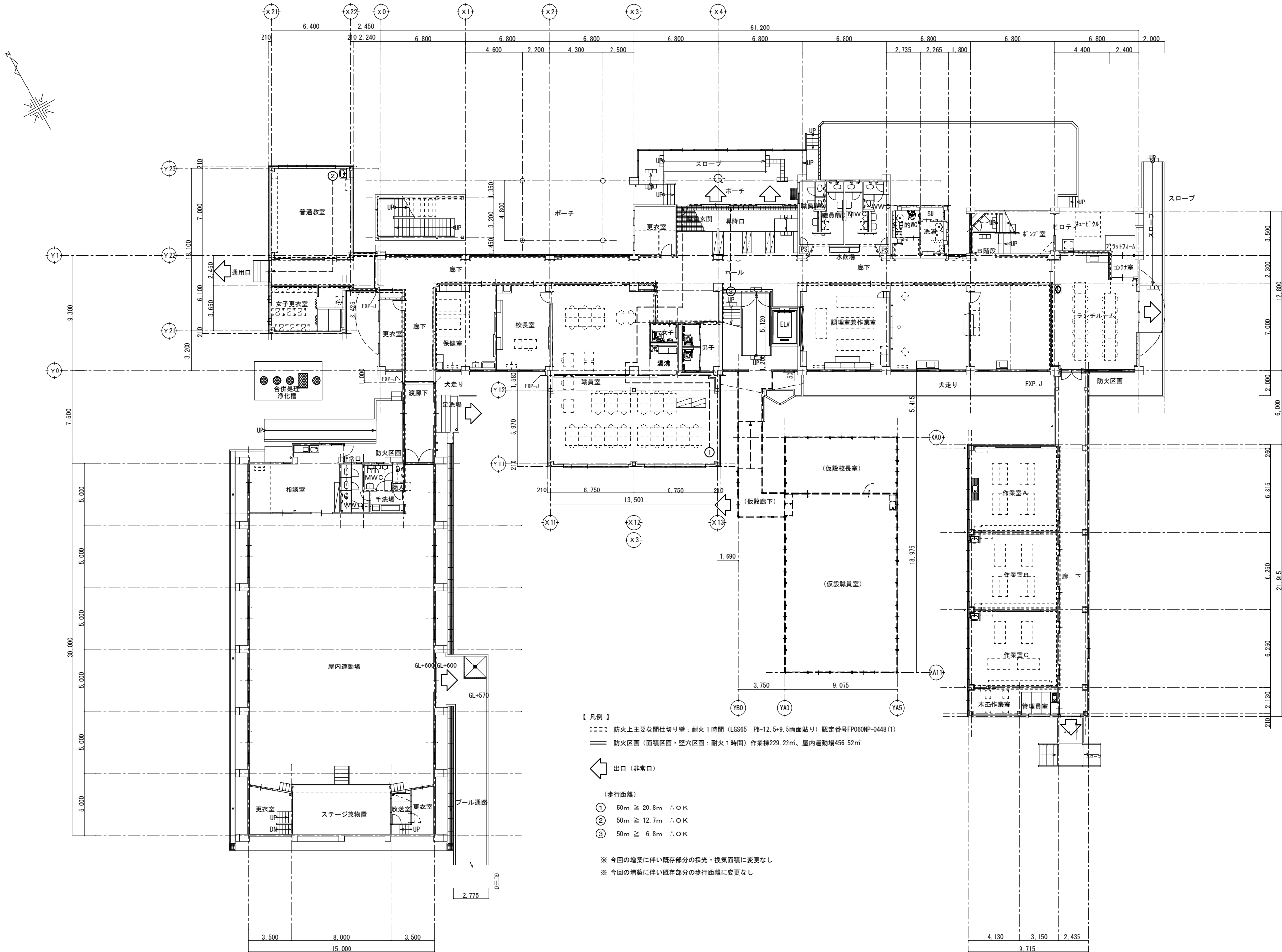


使用する部材は共通仕様書による  
防火戸等重量物のとりつく場合は



グラウンド昇降口 スロープ詳細図 1/50																										
<table><tr><td>製図</td><td>管理技術者</td><td>審査</td><td>承認</td><td rowspan="2"></td><td>構造設計 一級建築士 第 号 号 構造設計一級建築士 第 号 号 設備設計 一級建築士 第 号 号 設備設計一級建築士 第 号 号</td><td>CLASS</td><td>DATE</td><td>SCALE</td><td>No.</td><td>工事名称</td></tr><tr><td>金子</td><td>熊倉</td><td>頼所</td><td>熊頭</td><td>一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ツ) 第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 齋 藤 加 恵 郎</td><td>A-276</td><td>R5.03</td><td>A1:1/50 A3:1/100</td><td>39 A</td><td>総合支援学校職員室等増築 (建築主体) 工事 雑詳細図 2</td></tr></table>						製図	管理技術者	審査	承認		構造設計 一級建築士 第 号 号 構造設計一級建築士 第 号 号 設備設計 一級建築士 第 号 号 設備設計一級建築士 第 号 号	CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称	金子	熊倉	頼所	熊頭	一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ツ) 第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 齋 藤 加 恵 郎	A-276	R5.03	A1:1/50 A3:1/100	39 A	総合支援学校職員室等増築 (建築主体) 工事 雑詳細図 2
製図	管理技術者	審査	承認		構造設計 一級建築士 第 号 号 構造設計一級建築士 第 号 号 設備設計 一級建築士 第 号 号 設備設計一級建築士 第 号 号	CLASS	DATE	SCALE	No.		工事名称															
金子	熊倉	頼所	熊頭		一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ツ) 第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 齋 藤 加 恵 郎	A-276	R5.03	A1:1/50 A3:1/100	39 A	総合支援学校職員室等増築 (建築主体) 工事 雑詳細図 2																







増築後法規チェック

階	室名	床面積	採光計算							換気計算							排煙計算											
			採光率 (%)	必要面積	建具符号	開口部					採光率 (%)	必要面積	建具符号	開口部					排煙率 (%)	必要面積	建具符号	開口部						
						採光 係 数	W	H	開口 係 数	箇所				有効面積	判定	W	H	開口 係 数				箇所	有効面積	判定	W	H	開口 係 数	箇所
1	職員室 (増築)	165.080			AW-1	3.00	4.560	1.635	1.00	2	44.733			AW-1	4.560	1.050	0.50	2	4.788			AW-1	4.650	0.585	1.00	2	5.440	
	合 計	165.080	5	33.016							44.733	OK	20	8.254					10.123	OK	50	3.302					5.440	OK
1	普通教室 (増築)	50.230			AW-2	3.00	4.500	1.635	1.00	1	22.072			AW-2	4.500	1.050	0.50	1	2.362			AW-2	4.500	0.585	0.50	1	1.316	
	合 計	50.230	5	10.046							22.072	OK	20	2.512					3.678	OK	50	1.008					1.316	OK
1	ランチルーム (既存)	63.240			A-11 A-12 A-9	3.00 3.00 3.00	1.700 1.635 0.900	1.000 1.500 1.200	1.00 1.00 1.00	2 2 1	10.200 14.715 3.240			A-11 A-12 A-9	1.700 1.635 0.900	2.000 1.500 1.200	0.50 0.50 0.50	2 2 1	3.400 2.452 0.540			A-11 A-12 A-9	3.400 1.635 0.900	0.300 0.700 0.375	0.50 0.5 0.5	1 2 1	0.510 1.144 0.168	
	合 計	63.240	5	12.648							28.155	OK	20	3.162					6.392	OK	50	1.268					1.822	OK
1	作業室A (既存)	51.500			B-4	3.000	1.600	1.200	1.00	3	17.280			B-4	1.600	1.200	0.50	3	2.880			B-4	1.600	0.200	0.50	3	0.480	
	合 計	51.500	5	10.300							17.280	OK	20	2.575					2.880	OK	50	1.030					0.480	NG
	合 計		5									20								50								
	合 計		20									20								50								

2001/03/21 09:07:45 2000/03/01 00:00:00 0.0.0.0

無窓階判定

No. 1 / 3

普通階・無窓階算定書

防火対象物名称  
総合支援学校

用途  
総合支援学校

算定者氏名  
株式会社 ワシツ設計 担当：熊倉哲志

( 1 階 )

床面積 (A) 1,164.35 (㎡)

基準開口面積 (A / 3.0) 38.81167 (㎡)

有効開口面積合計 (C) 118.97 (㎡)

算定結果 ☒ 普通階 (C ≧ B) ☐ 無窓階 (C < B)

令8区画等による別様 ☐ 該当有り ☒ 該当無し

開口部位置	建具番号	開口部種別	厚さ (mm)	床からの高さ (m)	幅 (m) × 高さ (m) × 所在数	開口部面積小計 (㎡)	備考
東面	A-11	2連 引違い窓	F L5	0.000	1.70 × 2.00 × 2	6.80	ランチルーム
	A-12防	2連 引違い窓	PW6.8	0.900	0.81 × 1.50 × 2	2.43	ランチルーム
	B-1	引違い窓	F L5	1.100	1.60 × 1.20 × 3	5.76	作業棟
西面	AD-1	引違い戸	F5	0.000	1.67 × 2.00 × 1	3.34	通用口
	A-7	引違い窓	F L3	0.875	1.70 × 1.20 × 2	4.08	更衣室
	B-3	引違い窓	F L5		1.60 × 1.20 × 1	1.92	作業室
	B-4	3連 引違い窓	F L5	0.900	1.60 × 1.20 × 9	17.28	作業室
南面	AW-1	3連 引違い窓	FL5+A6+FL5	0.950	1.50 × 0.90 × 6	8.10	職員室
	A-13防	引違い窓	PW6.8	0.875	0.85 × 1.20 × 2	2.04	小1.2
	A-14	3連 引違い窓	F L3	0.875	1.80 × 1.20 × 6	12.96	
	A-14防	3連 引違い窓	PW6.8	0.875	0.90 × 1.20 × 3	3.24	重複
	A-16	引違い窓	F L3	0.875	1.20 × 1.80 × 1	2.16	保健室
	B-3	引違い窓	F L5	0.900	1.60 × 1.20 × 1	1.92	管理員室
					×	×	0.00
					×	×	0.00
					小計	67.95	・・・①

備考  
1.この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
2.算定は階ごとに算定すること。  
3.有効開口全てを記入すること。  
4.算定書の次に配置図・建具キープラン・建具表をとじて、有効算定した開口部を朱色で示すこと。

No. 2 / 3

普通階・無窓階算定書

防火対象物名称  
総合支援学校

用途  
総合支援学校

算定者氏名  
株式会社 ワシツ設計 担当：熊倉哲志

( 2 階 )

床面積 (A) 685.60 (㎡)

基準開口面積 (A / 3.0) 22.85333 (㎡)

有効開口面積合計 (C) 93.64 (㎡)

算定結果 ☒ 普通階 (C ≧ B) ☐ 無窓階 (C < B)

令8区画等による別様 ☐ 該当有り ☒ 該当無し

開口部位置	建具番号	開口部種別	厚さ (mm)	床からの高さ (m)	幅 (m) × 高さ (m) × 所在数	開口部面積小計 (㎡)	備考
北面	AW-2	3連 引違い窓	FL5+A6+FL5	0.950	1.50 × 0.90 × 3	4.05	普通教室
	A-1	2連 引違い窓	F L3	0.875	1.80 × 1.20 × 2	4.32	廊下
	A-2	3連 引違い窓	F L3	0.875	1.80 × 1.20 × 6	12.96	廊下
	A-3	引違い窓	F4	0.875	1.20 × 0.90 × 2	2.16	渡い室
	A-4	方開き戸	F L3	0.600	0.80 × 1.50 × 1	1.20	玄関
		FIX窓	F L3	0.600	1.05 × 1.50 × 4	6.30	玄関
		両引き戸	F L3	0.600	2.14 × 1.50 × 2	6.42	玄関
	A-5	引違い窓	F4	0.875	1.70 × 0.90 × 1	1.53	職員トイレ
	A-6	2連 引違い窓	F4	0.875	1.20 × 0.90 × 2	2.16	職員トイレ
	A-7	引違い窓	F L3	0.875	1.70 × 1.20 × 1	2.04	B階段
	A-8	引違い戸	F4	0.000	1.70 × 2.00 × 1	3.40	ポンプ室
	A-9	引違い窓	F L3	0.875	0.90 × 1.20 × 1	1.08	ランチルーム
	A-10	引違い戸	F4	0.000	1.70 × 2.00 × 1	3.40	プラットフォーム
					×	×	0.00
					小計	51.02	・・・②
					合計 (①+②)	118.97	

備考  
1.この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
2.算定は階ごとに算定すること。  
3.有効開口全てを記入すること。  
4.算定書の次に配置図・建具キープラン・建具表をとじて、有効算定した開口部を朱色で示すこと。

No. 3 / 3

普通階・無窓階算定書

防火対象物名称  
総合支援学校

用途  
総合支援学校

算定者氏名  
株式会社 ワシツ設計 担当：熊倉哲志

( 3 階 )

床面積 (A) 685.60 (㎡)

基準開口面積 (A / 3.0) 22.85333 (㎡)

有効開口面積合計 (C) 93.64 (㎡)

算定結果 ☒ 普通階 (C ≧ B) ☐ 無窓階 (C < B)

令8区画等による別様 ☐ 該当有り ☒ 該当無し

開口部位置	建具番号	開口部種別	厚さ (mm)	床からの高さ (m)	幅 (m) × 高さ (m) × 所在数	開口部面積小計 (㎡)	備考
南面	A-14	3連 引違い窓	F L3	0.875	1.80 × 1.20 × 12	25.92	
	A-14防	3連 引違い窓	PW6.8	0.875	1.00 × 1.20 × 1	1.20	複読書室兼多目的スペース
			F L3	0.875	1.80 × 1.20 × 2	4.32	複読書室兼多目的スペース
	A-14防	3連 引違い窓	PW6.8	0.875	1.00 × 1.20 × 8	9.60	
			F L3	0.875	1.80 × 1.20 × 1	2.16	
	A-21	引違い窓	F L3	0.000	1.40 × 1.40 × 4	7.84	A階段
					×	×	0.00
北面	A-2	3連 引違い窓	F L3	0.875	1.80 × 1.20 × 9	19.44	廊下
	A-7	引違い窓	F L3	0.875	1.70 × 1.20 × 1	2.04	B階段
	A-17	2連 引違い窓	F L3	1.100	1.80 × 1.20 × 2	4.32	多目的スペース
	A-18	引違い窓	F L3	0.875	1.70 × 1.20 × 2	4.08	多目的ホール
	A-19	引違い窓	F4	0.875	1.80 × 1.20 × 1	2.16	水飲み場
	A-20	引違い窓	F4	0.875	1.70 × 1.20 × 2	4.08	便所
	A-14	3連 引違い窓	F L3	0.875	1.80 × 1.20 × 3	6.48	図書室
					×	×	0.00
					合計	93.64	

備考  
1.この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
2.算定は階ごとに算定すること。  
3.有効開口全てを記入すること。  
4.算定書の次に配置図・建具キープラン・建具表をとじて、有効算定した開口部を朱色で示すこと。

製 図

管理技術者

審 査

承 認

株式会社 ワシツ設計

一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ワ) 第 495 号  
一級建築士 第 361707 号 管理建築士 齋 田 加 恵 郎

構造設計 第一 第 号  
構造設計一級建築士 第 号  
設備設計 一級建築士 第 号  
設備設計一級建築士 第 号

CLASS

DATE

SCALE

No.

工事名称  
総合支援学校職員室等増築 (建築主体) 工事

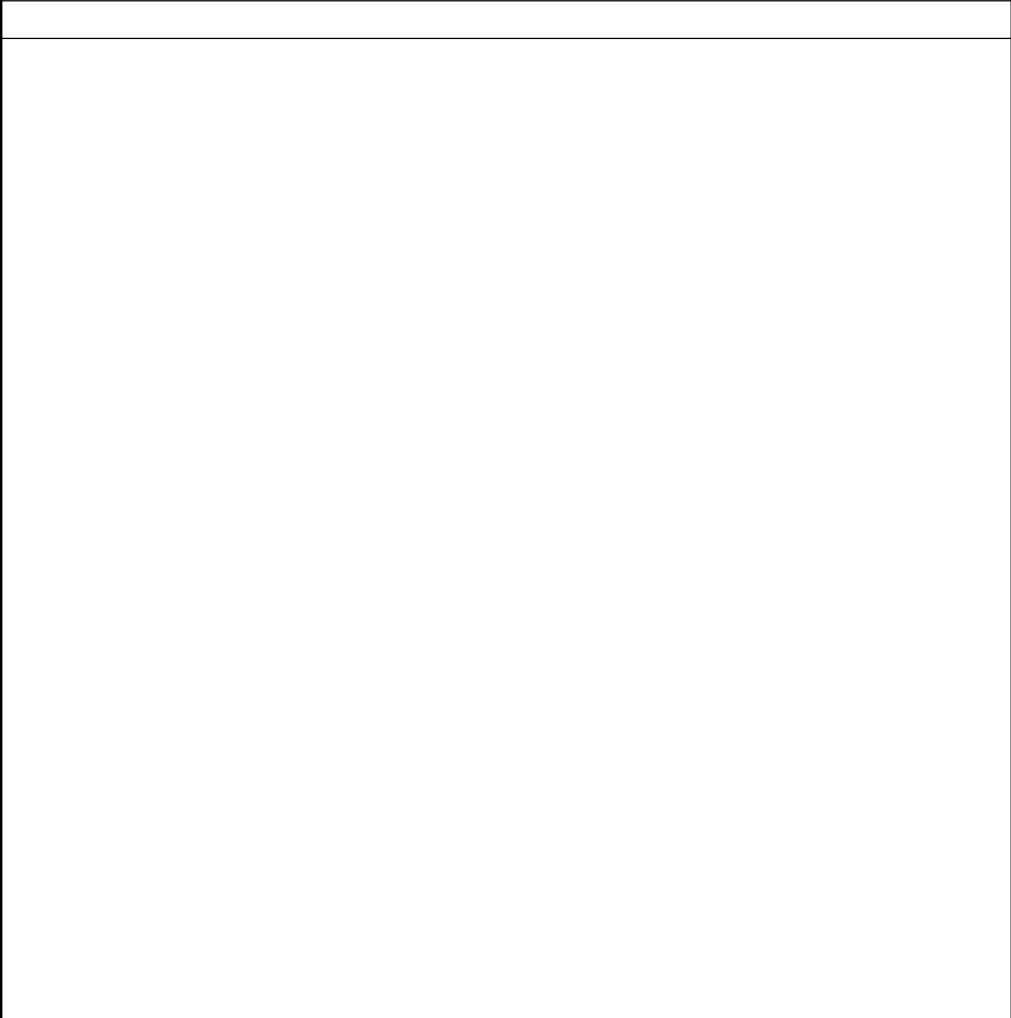
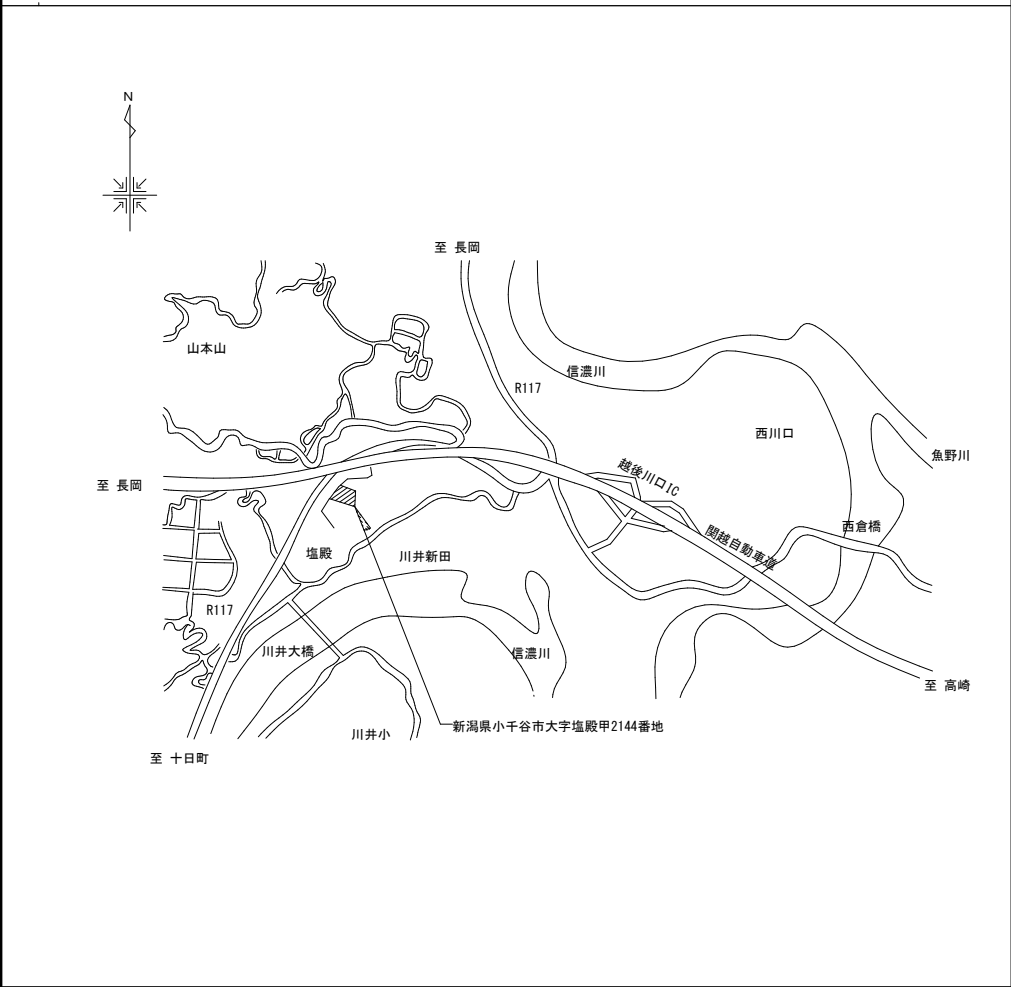
図面名称  
法チェック図2 (基準法・消防法)

A-276

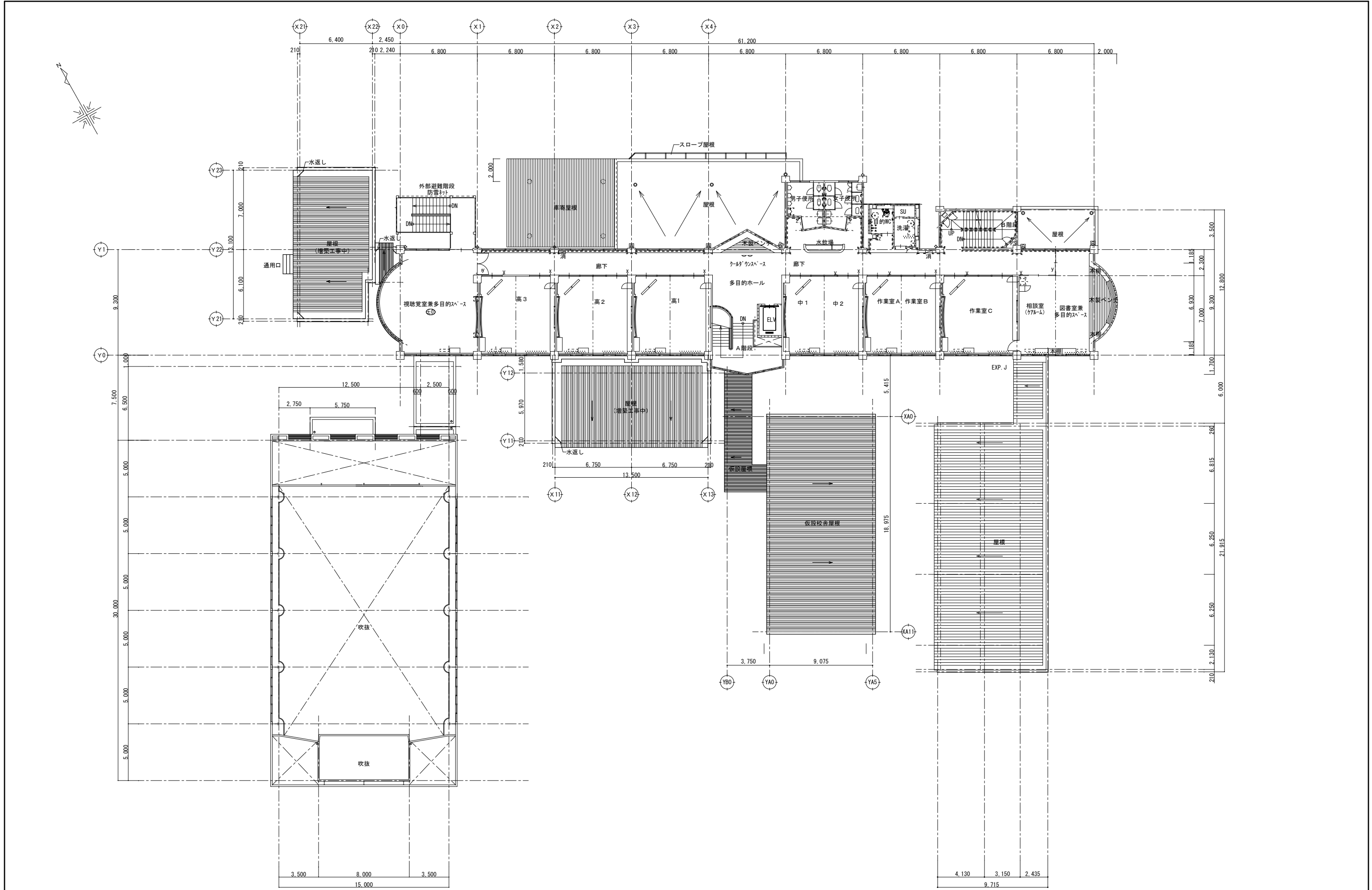
R5.03

A1:1/150  
A3:1/300

4.2  
A







				製 図				管 理 技 術 者				審 査 承 認				株式会社 ワシツ設計				構造設計 一級建築士 第 号 構造設計一級建築士 第 号		CLASS	DATE	SCALE	No.	工事名称		
				熊倉				熊倉				頭所				監頭				一級建築士事務所 新潟県知事登録(ワ)第 495 号 一級建築士 第 361707 号 管理建築士 監頭 加恵郎		A-276		R5.03	A1:1/150 A3:1/300	4 5 A	総合支援学校職員室等増築(建築主体)工事	
																										図面名称 (仮設完了後)全体2階平面図		

